

DVDビデオ・ナビゲーション内蔵
DVD/CD/MD ネットワークAVシステム

AVN7703D

取扱説明書

オーディオ編

お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくご使用いただくために、
この「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになった後も必要ときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

取り扱い上のご注意

本書の画面と実際の画面は、異なることがあります。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



知っておくと便利なこと

知っておいていただきたいこと

製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。

これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

本書はやさしく取り扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

はじめに

1. 本書の見方	8
2. 特長	10
3. ご使用になる前に	11
CD・DVDについて	12
MDについて	14
テレビについて	15
本機のお手入れについて	16
アンテナのお手入れについて	16

基本操作

1. 電源の入れ方、モードの切り替え方	18
電源の入れ方	18
モードの切り替え方	18
操作画面の表示	18
2. 各モードの操作画面	19
3. 音の調整	20
主音量の調整	20
画面操作・効果音の設定	20
小音量時の低・高音調整	21
ノンフェード出力の設定	21
4. 音質の調整	22
DSP（音場）の設定	23
DSP（音場）モードを設定する	23
DSP（音場）を調整・記憶する	23
DSP（音場）レベルをリセットする	23
EQ（イコライザ）の調整	24
音質を設定する	24
EQカーブをマニュアル設定する	24
EQカーブをリセットする	25
POS（ポジションセクタ）の設定	26
ポジションを設定する	26
音量バランスを調整する	27
5. 背景画の設定	28
背景画を切り替えるには	28
壁紙を切り替える	28
6. オーディオ画面の画質調整	29
画質調整画面を表示するには	29
ライト点灯時に昼画表示にするには	29
画面を消すときは	29

コントラスト（鮮明度）	
/ 明るさ調整30
コントラスト30
明るさ30
7. テレビ・VTRの画質調整31
画質調整画面を表示するには31
ライト点灯時に	
昼画表示にするには31
画面を消すときは31
画質調整32
色合い32
色の濃さ32
コントラスト32
明るさ32
8. 画面の調整・設定33
優先画面を設定する33
画面モード切り替え34
標準画モード34
ワイド1画モード34
ワイド2画モード34
ワイド3画モード34

オーディオの使い方

1. ラジオの使い方36	AUTO.P（自動）	
ラジオを聞く36	で記憶する37
聞きたい放送局を選ぶ36	AUTO.Pで記憶した	
手動で選ぶ36	放送局を変更する37
自動で選ぶ36	エリアスイッチについて38
プリセットスイッチから選ぶ36	局名スイッチについて38
放送局を記憶する37	交通情報を受信する39
マニュアル（手動）		周波数を記憶させる39
で記憶する37	ラジオを止める39
		2. CDプレーヤーの使い方40
		CDを聞く40
		聞きたい曲を選ぶ40
		早送り・早戻しする41
		聞きたい曲を探す41
		同じ曲を繰り返して聞く41
		曲の順番をランダムに聞く41
		CDを止める41
		3. CDチェンジャーの使い方42
		CDを聞く42
		聞きたい曲を選ぶ42
		早送り・早戻しする42
		聞きたいCDを選ぶ42
		チェンジャー内の全CDから	
		聞きたい曲やCDを探す42
		聞きたい曲を探す42
		聞きたいCDを探す42
		聞きたい曲や同じCDを	
		繰り返し聞く43
		いま聞いている曲を	
		繰り返し再生する43
		いま聞いているCDを	
		繰り返し再生する43
		曲の順番をランダムに聞く43
		いま聞いているCDの中から	
		ランダムに聞く43

チェンジャー内の全CDの中から	MP3を聞く	48
ランダムに聞く	聞きたい音楽ファイルを選ぶ	49
CDを止める	ファイル切り替えスイッチ	
4. MDプレーヤーの使い方	から選ぶ	49
MDを聞く	選曲・頭出しスイッチ	
聞きたい曲を選ぶ	から選ぶ	49
早送り・早戻しする	早送り・早戻しする	49
聞きたい曲を探す	1つ上の階層を表示する	49
聞きたいグループを探す	現在の階層を表示する	50
同じ曲を繰り返して聞く	聞きたい音楽ファイルを探す	50
曲の順番をランダムに聞く	同じ音楽ファイルを	
MDを止める	繰り返して聞く	50
5. MDチェンジャーの使い方	順番をランダムに聞く	50
MDを聞く	音楽ファイル情報などを	
聞きたい曲を選ぶ	表示する	50
早送り・早戻しする	MP3を止める	50
聞きたいMDを選ぶ	MP3について	51
チェンジャー内の全MDから	再生可能なMP3ファイルの	
聞きたい曲やMDを探す	規格について	51
聞きたい曲を探す	ID3タグについて	51
聞きたいMDを探す	使用できるメディアについて	51
聞きたい曲や同じMDを	使用できるディスクの	
繰り返して聞く	フォーマット	52
いま聞いている曲を	ファイル名	53
繰り返して再生する	マルチセッション	53
いま聞いているMDを	MP3の再生	53
繰り返して再生する	MP3の演奏時間表示	53
曲の順番をランダムに聞く	MP3ファイル、フォルダの	
いま聞いているMDの中から	リスト表示順番	53
ランダムに聞く	MP3ファイルの再生順番	54
チェンジャー内の全MDの中から	MP3ファイルの作り方、	
ランダムに聞く	楽しみ方	55
MDのタイトルや曲名などを	インターネット上のMP3音楽	
表示する	配信サイトから入手する場合	55
MDを止める	音楽CDからMP3ファイルに	
6. MP3プレーヤーの使い方	変換する場合	55

CD-Rに書き込む場合	55
CD-R/RWを再生する場合	55

テレビ・ビデオ(DVDプレーヤー)の使い方

1. テレビの使い方	56
テレビを見る	56
見たいチャンネルを選ぶ	57
手動で選ぶ	57
自動で選ぶ	57
プリセットスイッチから選ぶ	57
チャンネルを記憶する	57
マニュアル(手動)	
で記憶する	57
AUTO.P(自動)	
で記憶する	57
AUTO.Pで記憶した	
チャンネルを変更する	57
テレビ設定画面の切り替え	59
エリアスイッチについて	59
2. テレビをご覧になる前に	60
局名スイッチについて	60
音声多重放送を切り替える	60
画面モード切り替え	
/ 音質の調整	60
画質モード(ワイドモード)を	
設定する	60
音質(DSP、EQ、POS)を	
調整する	60
テレビモードを終わる	60
3. ビデオデッキの	
モニターとしての使い方	61
VTRを見る	61
VTRモードを終わる	61
4. DVDビデオの使い方	62
ディスクの構成について	62

DVDビデオの特長	62
マルチ音声機能について	62
マルチアングル機能について	63
字幕表示機能について	63
ディスクについて	64
再生できるディスクの	
種類について	64
再生可能なディスクの地域番号	
(リージョンコード)について	64
ディスクに表示されている	
マークについて	64
DVDプレーヤーの設定	65
音声言語を設定する	66
字幕言語を設定する	66
メニュー言語を設定する	67
マルチアングルマーク	
(アングル選択マーク)	
の表示を設定する	67
視聴制限を設定する	68
映像出力を切り替える	69
基本的なDVDの使い方	70
再生したい映像を選ぶ	70
早送り・早戻しする	71
パネルスイッチから	
早送り・早戻しする	71
タッチスイッチから	
早送り・早戻しする	71
映像を一時止める	72
映像を止める	72
DVDを止める	72
見たい映像を探す	72
チャプターから探す	72
タイトル番号から探す	73
メニュー番号から探す	73
タッチスイッチの表示を	
切り換える	74

タッチスイッチを消す	74
タッチスイッチの表示場所を 切り換える	74
画面表示・音声の切り換え	74
アングルを切り換える	74
字幕言語を切り換える	75
字幕の非表示	75
音声言語を切り換える	76
言語コード一覧	77

音声操作

1. 音声操作システムについて	78
音声認識コマンド一覧	78
オーディオモードを 切り替えるコマンド	78
ラジオ・テレビで利用できる コマンド	79
CD・MDプレーヤーで 利用できるコマンド	79
CD・MDチェンジャーで 利用できるコマンド	79
MP3で利用できるコマンド	80
画面表示に関するコマンド	80
認識できる放送局	80
AM放送局一覧表	80
FM放送局一覧表	81
TV放送局一覧表	82

ご参考に

1. 故障とお考えになる前に	84
2. こんなメッセージが 表示されたら	86
3. その他	87
技術基準適合認定について	87

ドルビーデジタルのみを 搭載する製品	87
マクロピジョンを 搭載する製品	87

4. 用語説明	88
5. 目的別索引	90
音量・演奏方法について	90
演奏する曲について	90
放送局について	91
ビデオ・DVDビデオについて	91
画面について	91
わからなくてお困りのとき	91
6. 索引	92

目的別索引は各機能の説明ページを簡単に検索できます。
操作でお困りのときは、目的別索引から該当の操作を検索
してお使いください。

製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。

1.本書の見方

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにNo. とタイトル
がつけられています。

●オーディオの使い方

●ラジオの使い方

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

1 **エリア** にタッチします。

“ AREA.P ” の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの画面に戻ります。



操作タイトル

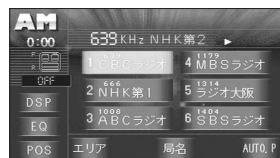
操作目的ごとにタイトルが
つけられています。

●局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数で複数の放送局が存在する場合に、放送局の名称を切り替えて表示することができます。

1 **局名** にタッチします。

放送局名の表示が切り替わります。



操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作して
ください。

ワンポイント

操作に関連することなどを
記述しています。



放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

交通情報を受信する

- 1 **[交通情報]** を押します。

あらかじめセットされている交通情報局（1620kHz）を受信します。



交通情報を受信中、チューニングスイッチを押しても交通情報局は切り替わりません。
交通情報局の受信周波数は変更できません。

周波数を記憶させる

- 1 **[AM]** にタッチします。
- 2 通常の選局または自動選局で記憶させたい周波数を選びます。
- 3 **[交通情報]** を“ピッ”と音がするまで押します。

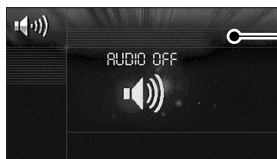


バッテリーなどを交換したときは1620kHzに戻ります。

ラジオを止める

- 1 **[PWR]** を押します。

再度 **[PWR]** を押すと、電源を切る前の受信放送局（周波数）が再受信されます。また、交通情報を聞いていたときは、その前に選択していたモードになります。



➡ 次ページに続く

セクション見出し

セクションの見出しのみを濃い色で表示しています。

操作画面

操作する画面を表示しています。

39

➡ 次ページに続く

操作手順が次ページに続く場合を表します。

2. 特長

システムアップ (42,46ページ)

CDチェンジャー・MDチェンジャー
複数のディスクをノンストップで再生するので、ロングドライブなどのとき便利です。

また、それぞれのチェンジャーの中から聞きたい曲を簡単に探し出し、再生することもできます。



さまざまな演奏会場を擬似的に再現するDSP機能 (23ページ)

お聞きになる音楽のジャンルやソースによって、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現し、楽しむことができます。



美しい映像と迫力あるサウンドが楽しめるDVDプレイヤー

(62ページ)

高画質・高音質で記録されたDVD-Videoを再生します。

(DVDは、映画1本分に相当する高画質映像と、CDを上回る高音質なデジタルサウンドを記録することができるメディアです。)



約1/10に圧縮した音楽ディスクを再生するMP3プレーヤー

(48ページ)

MP3形式で編集されたCD-R (レコーダブル) ディスクを再生します。(MP3は一枚のCD-Rに音楽アルバム数枚分の曲を収録することができる形式です。)



3.ご使用になる前に

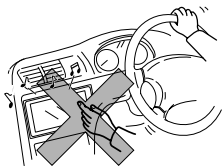


走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



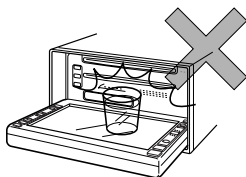
交通事故の原因となります。

走行中運転者はテレビの操作を極力しないでください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。

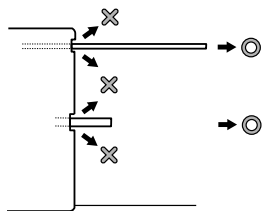


交通事故の原因となります。

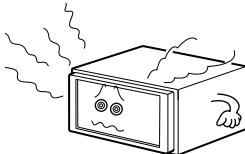
モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。また、モニターを倒したままにしないでください。



故障の原因となります。

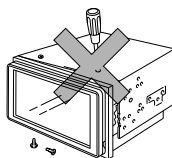


故障したままの使用は絶対しないでください。煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



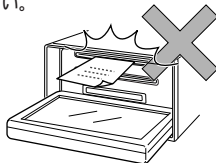
こんなときはすぐにオーディオの電源をOFFにしてください。

分解、改造はしないでください。



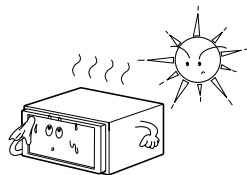
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

CDまたはDVD差し込み口にはCDおよびDVD以外のものを絶対に入れないでください。MDの差し込み口にはMD以外のものを絶対に入れないでください。



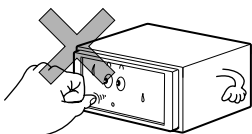
故障の原因となります。

車内温度には注意してください。夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。



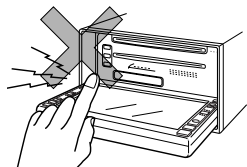
故障の原因となります。

モニターに強い力を加えたりしないでください。



故障の原因となります。

モニター収納時指などを差し込まないように注意してください。



ケガをしたり、故障の原因となります。

本機からCD、DVDまたはMDを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。

CDまたはDVDに傷がつき、音とびをするおそれがあります。

3.ご使用になる前に

CD・DVDについて



寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも霧（水滴）が生じることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますので買い上げの販売店にご相談ください。

下記のマークの付いたコピーコントロールCD、またはレーベルゲートCDは再生できない場合があります。詳しくはコピーコントロールCDの説明書を参照してください。



ファイナライズ処理されていないICD-R/RWは再生できません。

音楽用CD、映像用DVD以外は使用しないでください。使用できる音楽用CD・映像用DVDは下記のマークのついたCD・DVDです。

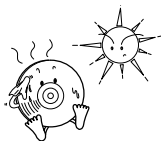


CD・DVDの取扱いについて

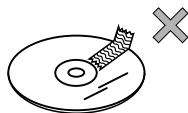
CD・DVDは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。CD・DVDがそり、使用できなくなるおそれがあります。

記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。

ひびがはいったCD・DVDやそりが大きいCD・DVDは、使用しないでください。故障の原因となります。



記録面に触れないように持ってください。（虹色に光っている面）CD・DVDが汚れ、音とびをすることがあります。



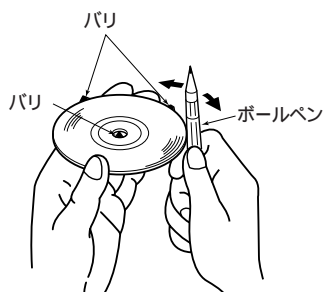
汚れたCD・DVDを使用するとCD・DVDに傷がつき、音とびをするおそれがあります。CD・DVDが汚れたときは、市販のコンパクトディスク・クリーナーでCD・DVDの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。





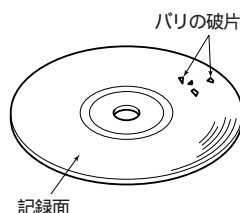
新しいCD・DVDについて

新しいCD・DVDをご使用になると、CD・DVDのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているCD・DVDを使用すると、“バリ”の破片がディスクの信号面に付着し、音とびをする場合があります。



レンタルCD・DVDについて

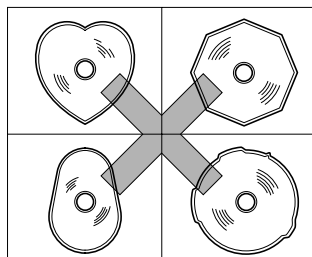
CD・DVDにセロハンテープやレンタルCD・DVDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCD・DVDプレーヤーにかけると、CD・DVDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



特殊形状のCD・DVDについて

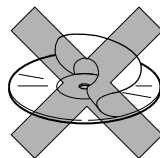
ハート型や八角形など特殊形状のCD・DVDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

市販のレンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。

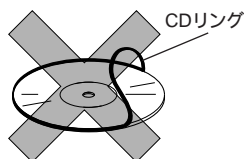


CD・DVDのアクセサリーについて

音質向上やCD・DVD保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。CD・DVDの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。



音質向上や防振効果を高めるCD・DVDの保護用として市販されているアクセサリー（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなくなったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



3. ご使用になる前に

MDについて



寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも霧（水滴）が生じることがあります（結露現象）。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくのあいだ、換気または除湿してからご使用ください。

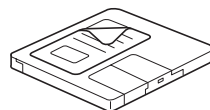
プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売店に相談してください。

MDの取り扱いについて

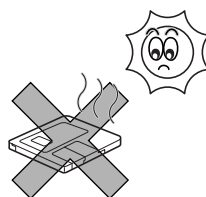
いつもよい音を楽しむため、定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



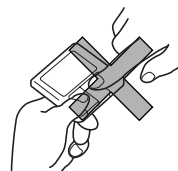
ラベルがはがれていたり、ネームテープが貼ってあるMDは使用しないでください。



直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。MDがそり、使用できなくなります。



シャッターを手で開けたり、記録面に触れないように持ってください。MDが汚れ、音とびをすることがあります。



テレビについて



液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。

太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。

車載テレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。

電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。

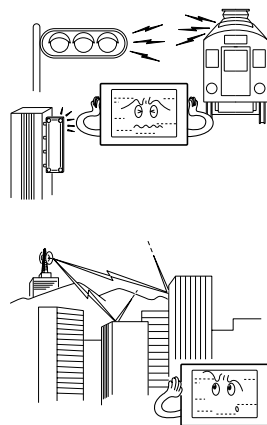
電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。

ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。

トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。

放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。

一部の地域において、テレビ、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。



お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

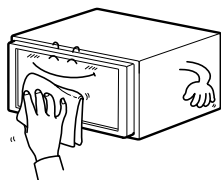
3.ご使用になる前に

本機のお手入れについて



汚れをおとすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。

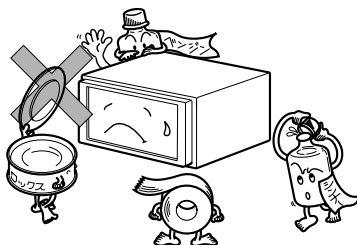
汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげる。



タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。



変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れについて



TVアンテナはカーテレビシステム専用です。（カーラジオには接続できません。）

アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽く拭いてください。ガラスクリーナーなどはアンテナを傷めますので使用しないでください。

フィルムTVアンテナ及びケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因となります。

一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

MEMO

はじめに

1.電源の入れ方、モードの切り替え方

エンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できます。

本機はリモコン対応になっています。別売の10キーリモコンを販売店でお買い求めください。操作方法については、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

なお、以下の機能についてはリモコンで操作できません。

- ・モニターの開閉 / 調整
- ・CD/MD/DVDの収納と取り出し
- ・サウンドの調整 / 画質の調整画面の呼び出し（それぞれの調整操作は、ポインタで操作できます）

電源の入れ方

- 1 **PWR** を押すか **SOURCE** を押し、各オーディオモードのタッチスイッチをタッチすると電源がONになります。

電源を切るときは **PWR** を押します。



モードの切り替え方

- 1 **SOURCE** を押します。
- 2 各オーディオモードのタッチスイッチにタッチします。

タッチしたモードに切り替わります。

SOURCE を押す前にナビゲーションの画面を表示していた場合は、選んだモードがオンスクリーン表示されます。

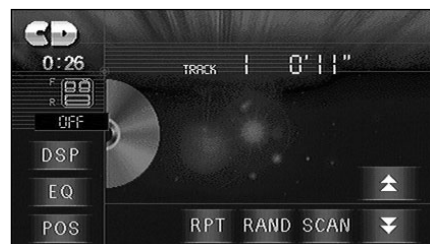


操作画面の表示

- 1 希望するモードに切り替えます。「モードの切り替え方」を参照してください。

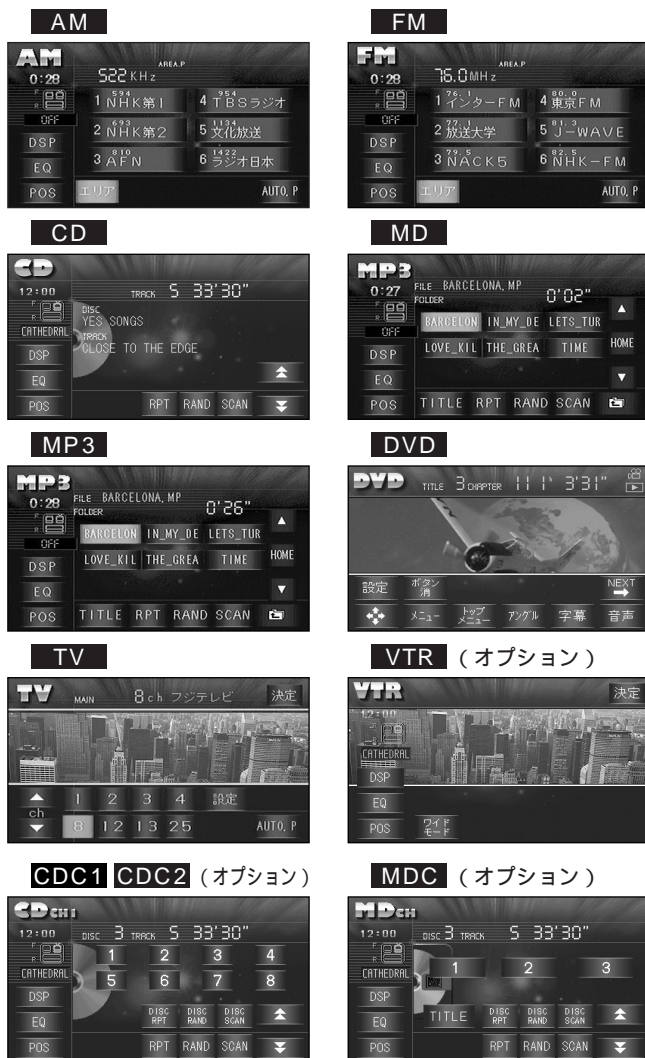
- 2 **CONT** を押します。

操作画面が表示されます。



2.各モードの操作画面

各モードの操作画面は、モードの情報やタッチスイッチなどが次のように表示されます。



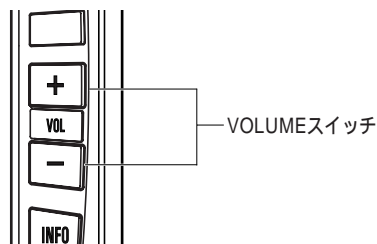
テレビ、ビデオ（VTR）またはDVDの操作画面で約6秒以上操作をしなかったときは、操作画面の表示が解除されます。

3.音の調整

主音量の調整

- 1 VOLスイッチで調整します。

+を押すと、音量が大きくなり、
-を押すと、音量が小さくなります。
1回押すと1ステップずつ音量が変わります。
また、押し続けると音量が変わり続けます。



画面操作・効果音の設定

現在地画面から**目的地**、**MENU**、または、目的地設定画面やメニュー画面から現在地画面へ表示を切り替えるときに画面がスライドするような表示となり、流れるような音が鳴ります。

- 1 **INFO** を押します。

- 2 インフォメーション（情報）画面で、**画面設定** にタッチします。



- 3 画面動作・効果音の**ON** または **OFF** にタッチします。



タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

- 4 **設定完了** にタッチします。



安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
音量がMAX (MIN) になると、それ以上のUP (DOWN) はできません。

小音量時の低・高音調整

オーディオを小音量で聞いているときなどの低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

- 1 インフォメーション（情報）画面で、**画面設定** にタッチします。
- 2 オートLOUDの **ON** または **OFF** にタッチします。
タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

- 3 **設定完了** にタッチします。



ノンフェーダ出力の設定

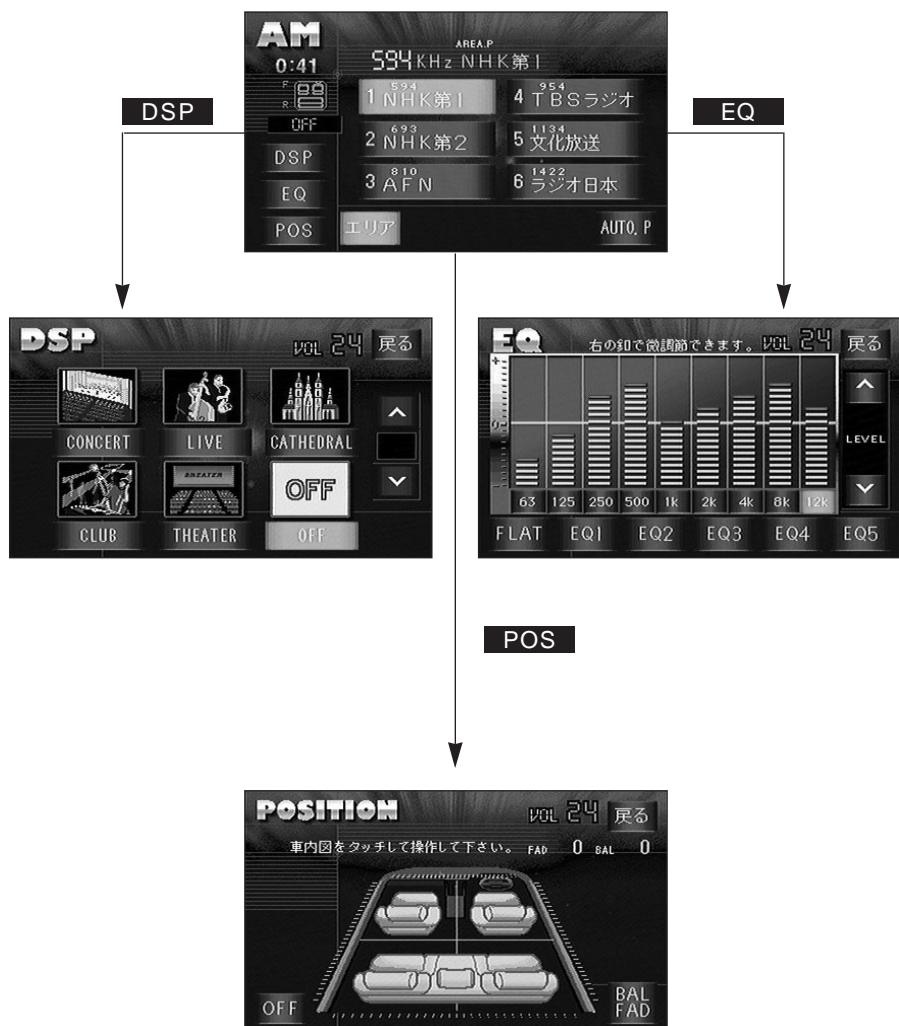
ウーファを接続したときに、オーディオの音をお好みの出力レベルに調整することができます。

- 1 インフォメーション（情報）画面で、**画面設定** にタッチします。
- 2 ノンフェーダ出力設定の **■** または **■** にタッチします。
- 3 **設定完了** にタッチします。



4.音質の調整

音質の調整は、各モードの操作画面を表示させているときに、DSP、EQ、POSのいずれかにタッチするとそれぞれの調整ができます。各モードから調整を行っても共通で記憶されています。



TVモードやDVDモードのときは、操作モードから **設定** にタッチすると音質調整のタッチスイッチが表示されます。

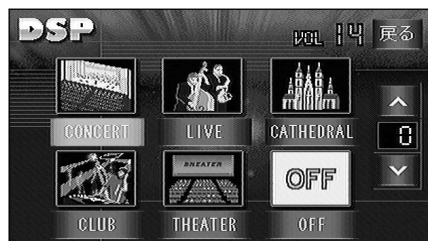
DSP（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、あらかじめ設定されているさまざまな環境（ルームサイズ）の臨場感を擬似的に再現できます。

DSP（音場）モードを設定する

- 1 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。



設定完了後、**戻る** にタッチしてください。設定された音場モードは記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。



タッチスイッチ	音場モードの種類	タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール	CLUB	ディスコ、クラブ
LIVE	ライブハウス	THEATER	シアター
CATHEDRAL	残響音の多い教会	OFF	DSP OFF

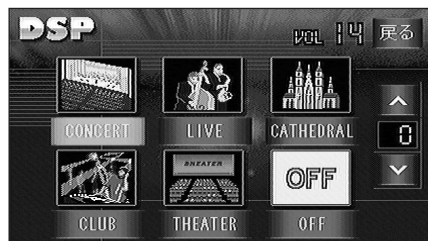
DSP（音場）を調整、記憶する

あらかじめ設定されている各モードのDSP（音場）とは別にお好みのレベルでDSP（音場）を調整、記憶することができます。

- 1 お好みの音場モードで画面左の 、 にタッチします。

調整レベルは+側、-側各5段階です。

- 2 調整した音場モードを“ピーツ”と音がするまでタッチします。



DSP（音場）レベルをリセットする

現在、記憶されているDSP（音場）レベルを初期値にもどすことができます。

- 1 **OFF** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

音場レベルが初期値にリセットされます。



ワンポイント

DVD映画などの音響効果を高めるため、**THEATER** のみ初期設定を+5にしてあります。

DSP（音場）レベルを調整中に、選択されている音場モードとは別の音場モードを設定した場合は調整レベルは記憶されません。

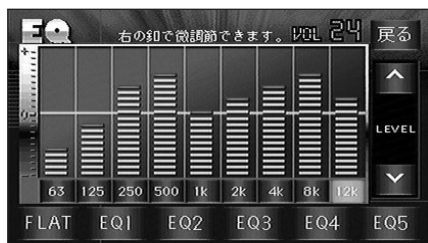
4.音質の調整

EQ（イコライザ）の調整

お聞きになる音楽ジャンルやソースによって好みの音質で聞けるようにイコライザで音質を調整できます。

音質を設定する

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、好みの音質に設定できます。



- 1 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。

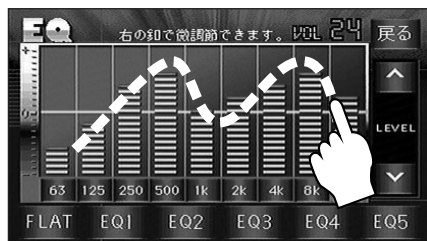
設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定された音質モードは記憶され、直前の画面に表示が戻ります。

タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ補正なし
EQ1	POPS
EQ2	ROCK
EQ3	JAZZ
EQ4	CLASSIC
EQ5	VOCAL

EQカーブをマニュアル設定する

あらかじめ設定されているイコライザカーブとは別に好みの音質にイコライザカーブを設定することができます。

- 1 お好みのイコライザカーブをイメージして指でゆっくり画面をタッチします。



- 2 微調整するときには、調整したい周波数選択スイッチにタッチします。

- 3 画面右の **+**、**-** にタッチして微調整します。

- 4 記憶したいタッチスイッチ **EQ1** ~ **EQ5** を “ピーッ” と音がするまでタッチします。

記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。

設定完了後、**戻る** にタッチしてください。設定された音質モードは記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。

EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザカーブやあらかじめ設定されているイコライザカーブを初期値にもどすことができます。

- 1 **FLAT** を “ピーツ” と音がするまでタッチします。

イコライザカーブが初期値にリセットされます。



4.音質の調整

POS（ポジションセレクト）の設定

人数、乗車位置に合わせて、音場感が楽しめる音像定位に切り替えることができます。
切り替えたポジション（位置）に対して前後左右の音量バランスを調整することができます。

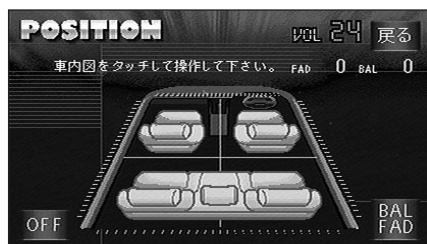
ポジションを設定する

- 1 **POS** 設定画面に表示された座席の絵をタッチするとポジションが切り替わります。

設定されたポジションは橙色に表示が替わります。再度タッチすると設定は解除されます。表のような5つのポジションに設定できます。

OFF にタッチすると、全ての設定は解除されます。

設定完了後、**戻る** にタッチしてください。設定されたポジションは記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。



表示					
ポジション（位置）	運転席を中心にした音場	助手席を中心にした音場	前席を中心にした音場	後席を中心にした音場	全体のバランスを考えた音場



全席を設定するときは前席からタッチしてください。
本機は右ハンドル車を基本としています。

音量バランスを調整する

設定したポジション別に前後左右の音量バランスを調整することができます。

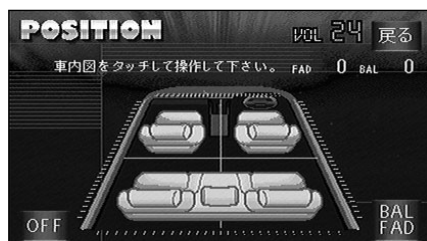
1 POSITION設定画面で
BAL・FAD にタッチして音量バラン
ス調整画面を表示します。

2 お好みのバランスポイントにタッチし
ます。

微調整するときは、**■**、**■**、**<**、**>**
にタッチしてください。

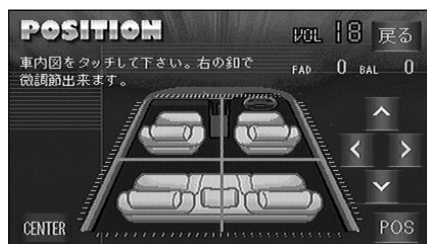
CENTER にタッチすると、音量バラン
スが中央に設定されます。

調整完了後、**戻る** にタッチしてくださ
い。



設定された音量バランスは記憶され、直
前の操作画面に表示が戻ります。

再度ポジション設定を行いたいときは、
POS にタッチして切り替えてください。
調整、記憶した音量バランスはポジシ
ョン別に独立して記憶されています。ポジ
ションごとに記憶された音量バランス調
整画面を呼び出すと、ポジションごとの
音量バランスが表示されます。



微調整時に**■**、**■**、**<**、または**>**にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値になった場合はロックするので、再度**■**、**■**、**<**、または**>**にタッチしてください。

5.背景画の設定

背景画を切り替えるには

画面の背景色やスイッチ色を3タイプから選ぶことができます。

壁紙を切り替える

1 **INFO** を押します。

2 インフォメーション（情報）画面で **画面設定** にタッチします。



3 壁紙の **1**、**2**、または **3** にタッチします。



選択した設定のスイッチが選択色になります。

4 **設定完了** にタッチします。

6.オーディオ画面の画質調整

オーディオ操作画面のコントラストや明るさをお好みに合わせて調整することができます。画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。

- （初期状態） ライト消灯時…＜昼画表示＞
ライト点灯時…＜夜画表示＞



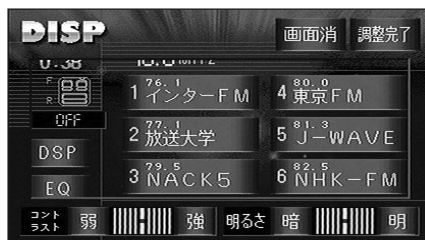
昼画表示＜ライト消灯時＞



夜画表示＜ライト点灯時＞

画質調整画面を表示するには

- 1 各モードの操作画面で、**DISP** を押すと、画質調整画面になります。
- 2 調整が終了したら、**調整完了** にタッチする、または約20秒以上操作をしなかったときは、画質調整画面にする前に表示させていた画面に戻ります。



ライト点灯時に昼画表示にするには

- 1 ライト点灯時、**昼画面** にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

昼画表示のときは、**昼画面** が選択色になります。



画面を消すときは

- 1 **画面消** にタッチします。

再度、画面を表示させるには **CONT** または **SOURCE** を押します。



NAVI を押すと現在地画面を表示することができます。

6.オーディオ画面の画質調整

コントラスト（鮮明度）／明るさ調整

コントラスト

1

強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。

明るさ

1

明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。



昼画表示・夜画表示それぞれ独立して調整することができます。

7. テレビ・VTRの画質調整

テレビ・ビデオ（オプション）・DVD画面のコントラストや明るさ、色などをお好みに合わせて調整することができます。

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。

- （初期状態） ライト消灯時・・・＜昼画表示＞
ライト点灯時・・・＜夜画表示＞



昼画表示＜ライト消灯時＞



夜画表示＜ライト点灯時＞

基本操作

画質調整画面を表示するには

- 1 テレビ・ビデオ・DVD画面で、**DISP** を押すと、画質調整画面になります。
- 2 調整が終了したら、**調整完了** にタッチします。また、約20秒以上操作をしなかったときは、画質調整画面にする前に表示していた画面に戻ります。



ライト点灯時に昼画表示にするには

- 1 ライト点灯時、**昼画面** にタッチすると、昼画表示と夜画表示が切り替わります。
- 昼画表示のときは、**昼画面** が選択色になります。



画面を消すときは

- 1 **画面消** をタッチします。

再度、画面を表示させるには **CONT** または **SOURCE** を押します。



NAVI を押すと現在地画面を表示することができます。

7. テレビ・VTRの画質調整

画質調整

色合い

- 1 緑色を強くするときは**緑**、赤色を強くするときは**赤**にタッチします。

コントラスト

- 1 強くするときは**強**、弱くするときは**弱**にタッチします。

色の濃さ

- 1 濃くするときは**濃**、淡くするときは**淡**にタッチします。

明るさ

- 1 明るくするときは**明**、暗くするときは**暗**にタッチします。



ワンポイント

昼画表示・夜画表示それぞれ独立して調整することができます。

8.画面の調整・設定

優先画面を設定する

インフォメーション（情報）画面を表示させて、約20秒以上操作しなかったときの画面表示を「継続表示する」、または「元の画面に戻る」のどちらかに選択することができます。

1 **INFO** を押します。

2 インフォメーション（情報）画面で、**画面設定** にタッチします。



3 優先画面設定の **自動解除**（元の画面に戻る）または **継続表示**（継続表示する）にタッチします。



タッチしたタッチスイッチが選択色になります。

4 **設定完了** にタッチします。

8.画面の調整・設定

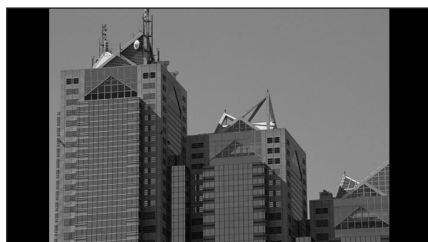
画面モード切り替え

- 1 テレビ設定画面、ビデオ操作画面、DVD設定画面で **ワイドモード** にタッチします。

ワイドモード切り替え画面になります。

- 2 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2**、または **ワイド3** にタッチします。

ワイドモードを選択します。



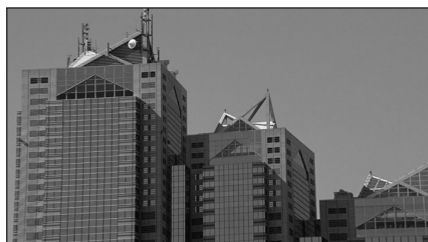
標準画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



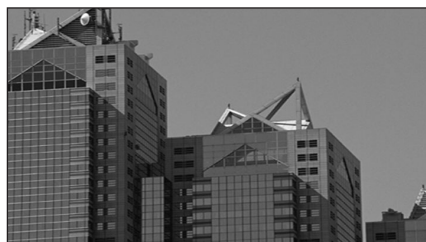
ワイド1画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を左右方向に均等（画面の中心を除く）に拡大して表示します。



ワイド3画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。



お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

MEMO

基本
操作

1. ラジオの使い方



ラジオを聞く

- 1 SOURCE を押します。
- 2 AMは **AM** に、FMは **FM** にタッチします。

聞きたい放送局を選ぶ

手動で選ぶ

- 1 、または を押します。

押すごとに1ステップずつUP/DOWNします。(1ステップはAM 9kHz、FM 0.1MHzです) (上側) : 周波数UP (高く) (下側) : 周波数DOWN (低く)

プリセットスイッチから選ぶ

- 1 記憶されているプリセットスイッチをタッチして選局できます。

自動で選ぶ

- 1 、または を “ピッ” と音がするまで押します。

現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。



受信電波の弱い地域では、自動選局することができないことがあります。

放送局を記憶する

放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

表示されているときは**AUTO.P**、または**エリア**をタッチすると、AUTO.Pまたはエリアからマニュアルに切り替わります。

1 通常選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチに“ピーッ”と音がするまでタッチします。

放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 **AUTO.P**を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

AUTO.Pが表示され自動的に選局を始めます。“ピーッ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。再度、**AUTO.P**にタッチすると記憶したチャンネルはすべて消去され、新たに放送局が記憶されます。

AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

1 通常選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチに“ピーッ”と音がするまでタッチします。

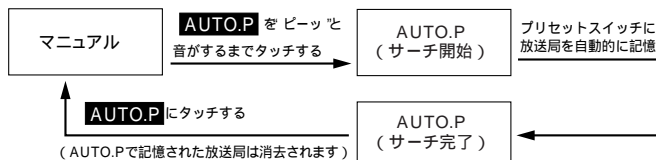
AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。

ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P動作中または動作後に**AUTO.P**にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態にもどります。

（このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンポイント

受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。

同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。

AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。

受信感度の良い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。

受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

1. ラジオの使い方

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

1 エリア にタッチします。

“AREA.P”の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。

表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。

もう一度**エリア**にタッチすると、もとの画面に戻ります。



局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数で複数の放送局が存在する場合に、放送局の名称を切り替えて表示することができます。

1 局名 にタッチします。

放送局名の表示が切り替わります。



放送が受信できて、放送局名を表示できない地域があります。

交通情報を受信する

- 1 **[交通情報]** を押します。

あらかじめセットされている交通情報局（1620kHz）を受信します。



ワンポイント

交通情報を受信中、チューニングスイッチを押しても交通情報局は切り替わりません。
交通情報局の受信周波数は変更できません。

周波数を記憶させる

- 1 **AM** にタッチします。
- 2 通常の選局または自動選局で記憶させたい周波数を選びます。
- 3 **[交通情報]** を “ ピッ ” と音がするまで押します。



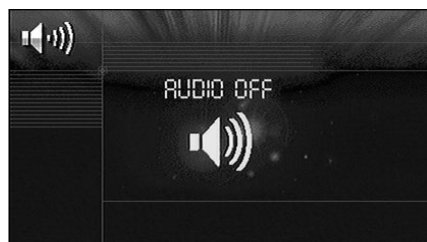
ワンポイント

バッテリーなどを交換したときは1620kHzに戻ります。

ラジオを止める

- 1 **PWR** を押します。

再度 **PWR** を押すと、電源を切る前の受信放送局（周波数）が再受信されます。また、交通情報を聞いていたときは、その前に選択していたモードになります。



2.CDプレーヤーの使い方



CDを聞く

CD差し込み口にCDを差し込むと自動的に再生を始めます。

- 1 CDが差し込まれてるときに **SOURCE** を押します。

- 2 **CD** にタッチします。

再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

- 1 、または を押します。

(上側) : 次曲を選ぶとき、
 (下側) : 前曲を選ぶとき
 聞きたい曲がいま聞いている曲より後ろにあるときは を押し、前にあるときは を押します。また、表示部にいま選ばれている曲番が表示されます。











CDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示 (CD-TEXT表示) することができます。また、表示文字数は、半角文字で最大32文字、全角文字で最大16文字まで表示できます。

CD-TEXT表示は、収録タイトル文字数の多いディスクではタイトル文字数が変わります。

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

- 1 、を押し続ける方法、または
、にタッチし続ける方法があります。

（上側）：曲を進めるとき、

（下側）：曲を戻すとき


早送り（早戻し）は、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたい曲を探す

- 1 **SCAN** にタッチします。

全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ曲を繰り返して聞く

- 1 **RPT** にタッチします。

RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。再度 **RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

- 1 **RAND** にタッチします。

RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。再度 **RAND** にタッチすると解除されます。



ワンポイント

曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

CDを止める

- 1 **PWR** を押します。

再度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

3.CDチェンジャーの使い方

別売のCDチェンジャーを接続すると操作できます。



CDを聞く

- 1 CDが差し込まれているときに **SOURCE** を押します。
- 2 CDチェンジャーを1台接続している場合は **CDC1** を、CDチェンジャーを2台接続している場合は **CDC1** または **CDC2** にタッチします。

聞きたい曲を選ぶ

「CDプレーヤーの使い方」(40ページ)を参照してください。

早送り・早戻しする

「CDプレーヤーの使い方」(40ページ)を参照してください。

聞きたいCDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいCDを選ぶことができます。

- 1 聞きたいCDのDISC切り替えスイッチをタッチします。
選択されたCDの番号が選択色になります。

チェンジャー内の全CDから聞きたい曲やCDを探す

聞きたい曲を探す

「CDプレーヤーの使い方」(40ページ)を参照してください。

聞きたいCDを探す

- 1 **DISC SCAN** にタッチします。

CDチェンジャー内全CDの1曲目の始めの部分を10秒間だけ順に再生します。再度 **DISC SCAN** にタッチすると、そのまま再生を続けます。



DISC切り替えスイッチは、CDチェンジャーに挿入できるCDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。

聞きたい曲や同じCDを繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

「CDプレーヤーの使い方」(40ページ)を参照してください。

いま聞いているCDを繰り返し再生する

- 1 **DISC RPT** にタッチします。

一度設定すると解除するまで繰り返します。再度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているCDの中からランダムに聞く

「CDプレーヤーの使い方」(40ページ)を参照してください。

チェンジャー内の全CDの中からランダムに聞く

- 1 **DISC RAND** にタッチします。

一度設定すると解除するまで繰り返します。再度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。



ワンポイント

曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

CDを止める

- 1 **PWR** を押します。

再度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

4.MDプレーヤーの使い方



MDを聞く

MD差し込み口にMDを差し込むと自動的に再生を始めます。

- 1 MDが差し込まれてるときに **SOURCE** を押します。

- 2 **MD** にタッチします。

再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

- 1 パネルスイッチの 、または を押します。

(上側) : 次曲を選ぶとき、

(下側) : 前曲を選ぶとき





聞きたい曲がいま聞いている曲より後ろにあるときは を押し、前にあるときは を押します。また、表示部にいま選ばれている曲番が表示されます。








MDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数は、半角文字で最大32文字、全角文字で最大16文字まで表示できます。MDLP方式で記録されたMDは録音の状態によって、“LP4(4倍モード)”、“LP2(2倍モード)”を表示します。また、グループを設定している場合はグループ切り替えスイッチ(・)を表示します。

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

- 1 パネルスイッチの 、 を押し続ける方法、または 、 にタッチし続ける方法があります。

 (上側) : 曲を進めるとき、
 
 (下側) : 曲を戻すとき


早送り(早戻し)は、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。



聞きたい曲を探す





- 1 **SCAN** にタッチします。

全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。
希望曲になったら、再度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

聞きたいグループを探す

グループ編集されているMDの場合、グループを切り替えて曲を探すことができます。

- 1 グループ切り替えスイッチの  または  にタッチします。

 (上側) : 次のグループを選ぶとき
 (下側) : 前のグループを選ぶとき
探したい曲がいま聞いている曲のグループより後ろにあるときは  をタッチし、前にあるときは  をタッチします。
また、表示部にいま選ばれているグループが表示されます。

同じ曲を繰り返して聞く

- 1 **RPT** にタッチします。

RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。再度 **RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

- 1 **RAND** にタッチします。

RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。再度 **RAND** にタッチすると解除されます。



ワンポイント

曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

MDを止める

- 1 **PWR** を押します。

再度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

5.MDチェンジャーの使い方

別売のMDチェンジャーを接続すると操作できます。



MDを聞く

1 MDが差し込まれているときに
SOURCE を押します。

2 **MDC** にタッチします。

再生を始めます。

早送り・早戻しする

「MDプレーヤーの使い方」(44ページ)を参照してください。

聞きたい曲を選ぶ

「MDプレーヤーの使い方」(44ページ)を参照してください。

聞きたいMDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいMDを選ぶことができます。

1 聞きたいMDのDISC切り替えスイッチをタッチします。

選択されたMDの番号が選択色になります。



ワンポイント

MDにタイトルや曲名などが記録されているとき表示することができます。
また、表示文字数は、半角文字で最大32文字、全角文字で最大16文字まで表示できます。
DISC切り替えスイッチは、MDチェンジャーに挿入できるMDの枚数分を表示し、挿入したDISC番号のみ選択することができます。

チェンジャー内の全MDから 聞きたい曲やMDを探す

聞きたい曲を探す

「MDプレーヤーの使い方」(44ページ)を参照してください。

聞きたいMDを探す

1 **DISC SCAN** にタッチします。

MDチェンジャー内全MDの1曲目の始めの部分を10秒間だけ順に再生します。再度**DISC SCAN** にタッチすると、そのまま再生を続けます。

聞きたい曲や同じMDを 繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

「MDプレーヤーの使い方」(44ページ)を参照してください。

いま聞いているMDを繰り返し再生する

1 **DISC RPT** にタッチします。

一度設定すると解除するまで繰り返します。再度**DISC RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているMDの中からランダムに聞く

「MDプレーヤーの使い方」(44ページ)を参照してください。

チェンジャー内の全MDの中からランダムに聞く

1 **DISC RAND** にタッチします。

一度設定すると解除するまで繰り返します。再度**DISC RAND** にタッチすると解除されます。



曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

MDのタイトルや 曲名などを表示する

1 **TITLE** にタッチします。

タイトルや曲名などの表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり、**TITLE OFF** にタッチするとDISC切り替えスイッチが表示が切り替わります。

MDを止める

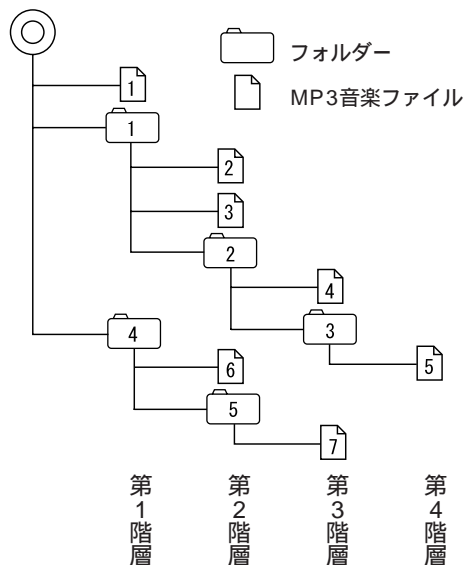
1 **PWR** を押します。

再度**PWR** を押すと再生が再開されます。

6.MP3プレーヤーの使い方



MP3ファイル作成例



MP3を聞く

ディスク差し込み口にCDを差し込むと自動的に電源が入り、再生を始めます。

1 ディスクが差し込まれてるときに **SOURCE** を押します。

2 **MP3** にタッチします。

再生を始めます。

CDを差し込むと、差し込まれたCDが音楽CDかMP3かをチェックするため、約2秒間CDプレーヤーの画面を表示します。

通常は、**1** **2** **3** **4** **5** **6** **7** の順に再生します。

同じ階層に複数のMP3音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語(SJISコード)の昇順に再生します。



ワンポイント

CDにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数は、半角文字で最大32文字、全角文字で最大16文字まで表示できます。

MP3データ以外のデータが同じディスクに混在するとMP3データを再生することはできません。

MP3を再生すると、ナビゲーションの動作が遅くなることがありますが、異常ではありません。

MP3を聞いているときはFM-VICS情報を受信することができません。

ここでの操作説明は、MP3ファイル作成例をもとに説明しています。



聞きたい音楽ファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

ファイル切り替えスイッチから選ぶ

1 音楽ファイルにタッチします。

音楽ファイルのスイッチが水色になり、再生が始まります。また、表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。


同じフォルダ内に音楽ファイルが9個以上ある場合は、  にタッチするとデータを切り替えて表示することができます。



選曲・頭出しスイッチから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。

1 、またはを押します。

（上側）：
次の音楽ファイルを選ぶとき、

（下側）：
前の音楽ファイルを選ぶとき


聞きたい音楽ファイルがいま聞いている音楽ファイルより後ろにあるときはを押し、前にあるときはを押します。また、表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 、を“ピッ”と音がするまで長く押します。

（上側）：曲を進めるとき、

（下側）：曲を戻すとき

“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

1つ上の階層を表示する








再生している階層よりも1つ上の階層のフォルダ、ファイルを表示します。

1 にタッチします。

表示している1つ上の階層のフォルダ、ファイルを画面に表示します。



MP3ファイル作成例については48ページを参照してください。

画面に“”、“”、“”の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されている時ににタッチすると、“”、“”、“”の第1階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

6.MP3プレイヤーの使い方

現在の階層を表示する

再生しているファイルを表示します。

- 1 **HOME** にタッチします。

聞きたい音楽ファイルを探す

- 1 **SCAN** にタッチします。

再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルを曲の始めの10秒間だけ順に再生します。再度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ音楽ファイルを繰り返して聞く

- 1 **RPT** にタッチします。

再生中のファイルを繰り返し再生します。
RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。
再度 **RPT** にタッチすると解除されます。

順番をランダムに聞く

- 1 **RAND** にタッチします。

再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルの中から任意にファイルを選び出し再生します。

RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。再度 **RAND** にタッチすると解除されます。



ワンポイント

曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

音楽ファイル情報などを表示する

- 1 **TITLE** にタッチします。

ファイルの情報を表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり、
TITLE OFF にタッチするとフォルダ / ファイル切り替えスイッチに表示が切り替わります。

MP3を止める

- 1 **PWR** を押します。

再度 **PWR** を押すと再生が再開されます。



ワンポイント

MP3ファイル作成例については48ページを参照してください。

第3階層の **[4]** を再生中、画面に “ **[2]** ”、“ **[3]** ”、“ **[2]** ” の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されているときに **HOME** にタッチすると、“ **[4]** ”、“ **[3]** ” の第3階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

MP3について

本機で利用できるMP3ファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットに制限があります。MP3ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

対応規格	: MPEG Audio レイヤ3 (= MPEG1 Audio Layer)
対応サンプリング周波数	: 32、44.1、48 (kHz)
対応ビットレート	: 32、40、48、56、64、80、96、112、128 (kbps) VBRに対応しています。 フリーフォーマットには対応していません。 MPEG1、2でビットレートが異なります。
対応チャンネルモード	: ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、 モノラル



MP3のビットレートは128kbps以下で使用してください。128kbps以上のビットレートを使用するとMP3再生時に音とびをする場合があります。

ID3タグについて

本機はID3v1.0、ID3v1.1のID3タグに対応しています。日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

利用できるメディアについて

MP3の再生に利用できるメディアはCD-ROMおよびCD-R / Wです。

なお、CD-R / Wは通常の音楽CDに使用されているCD-ROMに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R / Wは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合再生できない場合や音飛びする場合があります。

一部のCD-R / Wは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R / Wは紫外線に弱いいため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

6.MP3プレイヤーの使い方

使用できるディスクのフォーマット

使用できるメディアのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2です。

日本語を含むフォルダ名/ファイル名を使用することもできますが、この場合は文字化けをすることがあります。

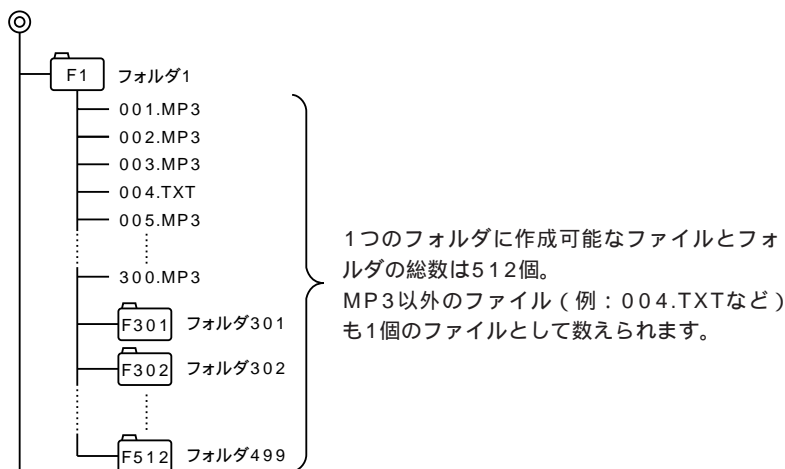
また、この場合は特に下記制限に注意してください。

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名/ファイル名文字数 : 半角31文字 (区切り文字 "." + 拡張子3文字を含む)
- フォルダ名/ファイル名使用可能文字 : A~Z、0~9、_ (アンダースコア)
日本語 (シフトJIS)
- 1つのフォルダ内に書き込み可能なファイルとフォルダの総数 : 512個 (*1)

<MP3対応CDの構造例>



(*1) : MP3以外のファイル (拡張子 "MP3" 以外のファイル) も、1個のファイルとして数えます。

一枚のディスクに書き込み可能なフォルダ、ファイルの総数 : 1023個

ファイル名

MP3と認識し再生するファイルはMP3の拡張子 ".MP3" (*2) が付いたものだけです。MP3ファイルには、"MP3" の拡張子を付けて保存してください。
(*2): 拡張子名 "MP" は半角英大文字にしてください。

マルチセッション

マルチセッションに対応しており、MP3ファイルを追記したCD-R/RWの再生が可能です。ただし、"Track at once" で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

MP3の再生

MP3ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ディスク挿入から約10秒以内にチェックが終わりますと最初のMP3ファイルを再生します。約10秒以内にチェックが終わらなかった場合は、いままで聞いていた音楽やTVなどを引き続き再生しますが、**MP3** にタッチすることによりMP3ファイルを再生させることができます。

なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

また、マルチセッションディスクはCDの管理情報取得に時間がかかりますのでシングルセッションで書き込むことをおすすめします。

MP3を再生すると、ナビゲーションの動作が遅くなることがありますが、異常ではありません。

MP3の演奏時間表示

MP3ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3ファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3ファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3ファイル、フォルダを次のように表示します。

1. MP3ファイルを数字、アルファベット、日本語 (SJISコード) の昇順に表示
2. 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語 (SJISコード) の昇順に表示



注意

MP3以外のファイルに"MP3"の拡張子を付けると、MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3以外のファイルに、"MP3"の拡張子を付けしないでください。

6.MP3プレイヤーの使い方

MP3ファイルの再生順番

MP3ファイルを再生する順番は次の通りです。

通常の再生時

ディスク内に書き込まれているMP3ファイルを再生します(*3)。

(例)「001.MP3」 「002.MP3」
 「003.MP3」 「004.MP3」
 「005.MP3」 ... 「011.MP3」
 「001.MP3」 ...

「02.MP3」を再生中に **SCAN** にタッチしたとき

「02.MP3」のある階層のMP3ファイルのSCAN再生を開始します(*4)。

(例)「003.MP3」 「004.MP3」
 「005.MP3」 SCAN停止
 通常の再生に戻り「002.MP3」を再生

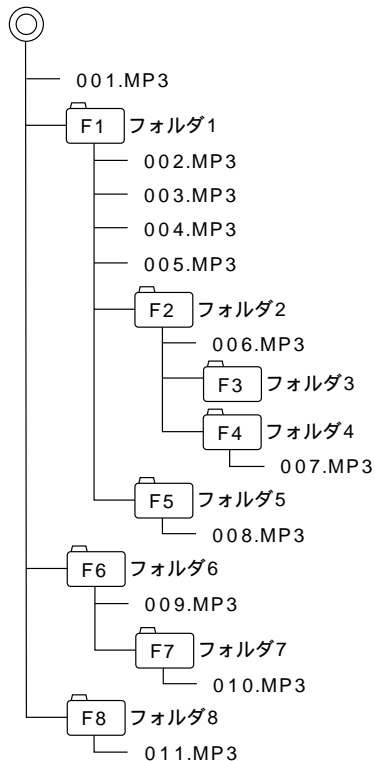
「02.MP3」を再生中に **RAND** にタッチしたとき

「02.MP3」のある階層のMP3ファイルのRAND再生を開始します。

(例)「004.MP3」 「002.MP3」
 「005.MP3」 「003.MP3」
 「002.MP3」 ...

MP3ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初に「01.MP3」のMP3ファイルを再生します。

< MP3対応CDの構造例 >



(*3) : 同一階層に複数のMP3ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語 (SJISコード) の昇順に選び再生します。

(*4) : 同一階層に複数のMP3ファイルが存在する場合、数字、アルファベット、日本語 (SJISコード) の昇順に選び再生します。

MP3ファイルの作り方、楽しみ方

MP3ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。ISDN回線ならば、1曲約15分から25分ぐらいでダウンロードできます（ただし、回線接続状況によります）。

音楽CDからMP3ファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3エンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3エンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3形式の音楽データファイルができます。12cmの音楽CD1枚（最大74分収録／データ容量650MB）が約65MBのデータ量（約10分の1）になります。

CD-Rに書き込む場合

MP3ファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトでISO9660レベル1またはレベル2（拡張フォーマット含まず）という記録フォーマットに設定して書き込みます。

ディスクフォーマットはCD-ROM（mode1）を選択してください。CD-ROM x A（mode2）で書き込まれたディスクは再生できません。

CD-R/RWを再生する場合

MP3ファイルが記録されたCD-R/RWを挿入します。自動的に音楽CDかMP3ファイルのCD-R/RWかを認識して再生します。また、CD-R/RWに記録した音楽CDも再生できます。ただし、ディスクの種類によって、再生できない場合もあります。



ワンポイント

安定した音質で再生するために、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数を推奨します。

CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。

MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコードソフトが存在し、エンコードの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。

ディスクにMP3以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。

1.テレビの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、サイドブレーキをかけた場合のみテレビをご覧になることができます。（走行中にテレビモードを選択した場合、音声のみになります。）



テレビを見る

1 **SOURCE** を押します。

2 **TV** にタッチします。

テレビ画面になります。

CONT を押す、または画面にタッチすると、テレビ操作画面になります。



テレビ操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。

CONT を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

- 1 、を押す、または、にタッチします。

押すごとに1ステップずつチャンネルがUP/DOWNします。

（上側）：

チャンネルUP（大きくなる）

（下側）：

チャンネルDOWN（小さくなる）

自動で選ぶ

- 1 、を“ピッ”と音がするまで押す、または、に“ピッ”、“ピッ”と2度続けて音がするまでタッチします。

現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。

受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

プリセットスイッチから選ぶ

- 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

チャンネルの記憶方法は「チャンネルを記憶する」右記を参照してください。

- 2 **決定** にタッチすると、放送局受信画面に切り替わります。

再度、選局したいときは **CONT** を押す、または画面にタッチします。

チャンネルを記憶する

チャンネルを記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

表示されているときは **AUTO.P** または **エリア** にタッチすると、AUTO.PまたはAREA.Pからマニュアルに切り替わります。

- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

- 1 **AUTO.P** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

AUTO.Pが表示され自動的に選局を始めます。“ピーッ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。再度、**AUTO.P** にタッチすると記憶したチャンネルはすべて消去され、新たにチャンネルが記憶されます。

AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

1.テレビの使い方

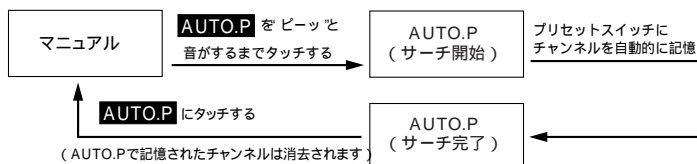
AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。

ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。

（このときAUTO.Pで記憶したチャンネルは消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは上記になります。



ワンポイント

受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。

AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。

受信感度の良いチャンネルを小さい順に8局まで自動的に記憶します。

受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

テレビ設定画面の切り替え

テレビモードでは、テレビ設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

エリアプリセット

音声多重放送の切り替え

画面モード（ワイドモード）の切り替え

DSP、EQ、POSなどの音質調整

マニュアルでのチャンネルの記憶

1 **設定** にタッチします。

エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などをおこなうことができます。

戻る にタッチするとテレビ操作画面に戻ります。



エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルの表示・選局ができます。

1 **エリア** にタッチします。

“AREA.P”の表示とともにその地域で放送されている放送局名とチャンネルが表示されます。

放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチをタッチします。

再度 **エリア** にタッチすると、もとの画面に戻ります。



受信できなかった放送局は画面に表示されません。

2. テレビをご覧になる前に

局名スイッチについて

テレビを受信したとき、同じチャンネルの放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 局名 にタッチします。

放送局名を選択します。



画面モード切り替え / 音質の調整

1 PWR を押します。

もう一度押すと電源を切る前の受信放送局 (チャンネル) が再受信されます。

画面モード (ワイドモード) を設定する

「モードの切り替え方」(18ページ) を参照してください。

音質 (DSP、EQ、POS) を調整する

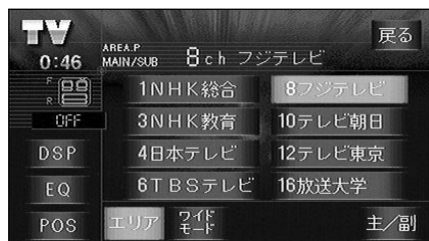
「音質の調整」(22ページ) を参照してください。

音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

1 主/副 をタッチするごとに、下図の順に切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主・副音声
MAIN SUB MAIN・SUB



テレビモードを終わる

1 PWR を押します。

再度 PWR を押すと電源を切る前の受信放送局 (チャンネル) が再受信されます。



放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。
2ヶ国語放送を受信したときは、 が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

3. ビデオデッキのモニターとしての使い方

オプションのVTRコードを取り付けることでビデオ機器を接続して、ビデオをご覧になれます。エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。（走行中にビデオモードを選択した場合、音声のみになります）

パワースイッチ

CONT
スイッチ

SOURCE
スイッチ



VTRを見る

- 1 **SOURCE** を押します。
- 2 **VTR** にタッチします。

VTR画面になります。

CONT を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。

VTRモードを終わる

- 1 **PWR** を押します。

再度 **PWR** を押すと電源を切る前の映像が再生されます。



ビデオ操作画面で、約6秒以上操作しなかったときは、操作画面の表示が解除されます。**CONT** を押す、または画面にタッチすると再度、ビデオ操作画面を表示します。

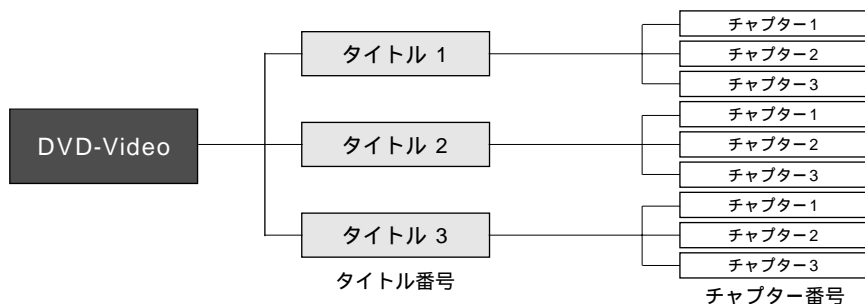
4.DVDビデオの使い方

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）が付けられています。



DVDビデオの特長

マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、再生中、TVの音声多重放送のように音声言語を切り替えることができます。



一機の飛行機が夜空を...



An airplane was flying
in the night sky...

マルチアングル機能について

DVDディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。

ディスクによっては複数のアングルが収録されていない場合もあります。



映像のアングルが切り替わります。

字幕表示機能について

DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。



注意

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。


4.DVDビデオの使い方

ディスクについて

再生できるディスクの種類について








本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL,SECAM）用のディスクは再生することができません。

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには （地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このディスクは再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。

ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
 	選択可能な画像アスペクト比（テレビ画面の横と縦の比率）を表します。 「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
 	再生可能な地域番号を表します。 ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。



DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおり機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

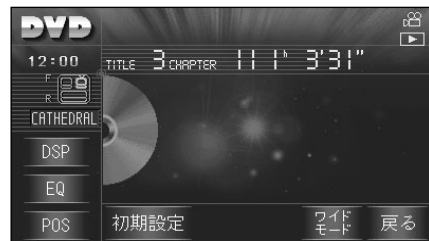
DVDプレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

1 **設定** にタッチします。

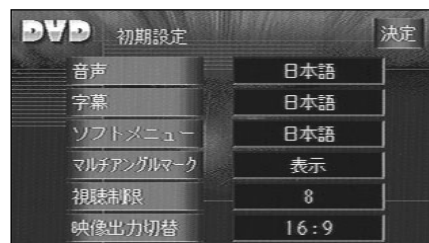


2 **初期設定** にタッチします。



初期設定画面が表示されます。

3 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。



タッチスイッチ	機能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	次ページ
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	次ページ
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	67
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	67
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	68
映像出力切替	画面サイズを設定します。	69



ワンポイント

初期設定画面で設定を変更した後、**決定** にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチ (**CONT**、**SOURCE**) を押すとDVDの再生は停止した状態になります。再度再生する場合は映像操作画面で **▶** にタッチします。(72ページ参照)

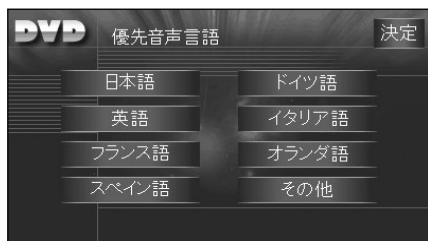
4.DVDビデオの使い方

音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

- 1 初期設定画面で **音声** にタッチします。
- 2 お好みの言語にタッチします。

その他 にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



- 3 **その他** にタッチしたときは、言語コードを入力します。

言語コードについては「言語コード一覧」(77ページ)を参照してください。



- 4 **決定** にタッチします。

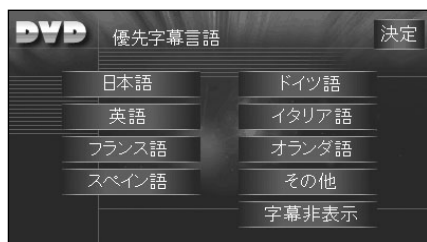
字幕言語を設定する

再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

- 1 初期設定画面で **字幕** にタッチします。
- 2 お好みの言語にタッチします。

その他 にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。

字幕非表示 にタッチすると、画面に字幕を表示せずに再生することができます。



- 3 **その他** にタッチしたときは、言語コードを入力します。

言語コードについては「言語コード一覧」(77ページ)を参照してください。



- 4 **決定** にタッチします。



ワンポイント

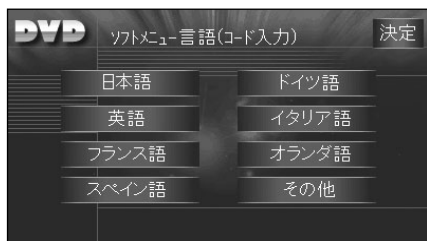
選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。

メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

- 1 初期設定画面で**ソフトメニュー**にタッチします。
- 2 お好みの言語にタッチします。

その他 にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



- 3 **その他** にタッチしたときは、言語コードを入力します。

言語コードについては「言語コード一覧」(77ページ)を参照してください。

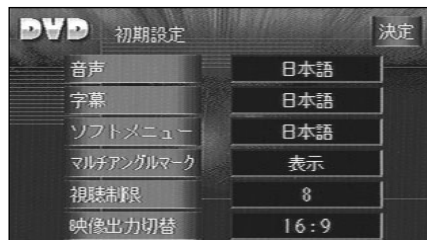


- 4 **決定** にタッチします。

マルチアングルマーク(アングル選択マーク)の表示を設定する

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

- 1 初期設定画面で**マルチアングルマーク**にタッチします。
タッチするごとに「表示」と「非表示」が切り替わります。



- 2 **決定** にタッチします。



選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の右上にマルチアングルマークが表示されます。

4.DVDビデオの使い方

視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

1 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。

間違えたときは **クリア** にタッチすると、番号がすべて消去されます。



3 **決定** にタッチします。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。



5 **決定** にタッチします。



ワンポイント

視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定ができません。

暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。

暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「 - - - - 」で表示されます。

一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。

視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。

レベル1子ども向けのDVDソフトのみを再生します。(一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。)

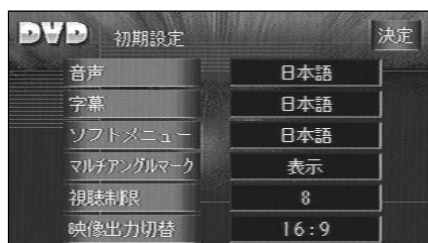
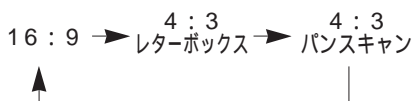
レベル2～7...子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。(成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。)

レベル8全てのDVDソフトを再生します。(初期設定)

映像出力を切り替える

- 1 初期設定画面で **映像出力切替** にタッチします。

タッチするごとに下図の順に画面サイズが切り替わります。



- 2 **決定** にタッチします。

「16 : 9」

横4 : 縦3の割合の画面サイズ（普通のテレビ画面サイズ）で表示します。（ワイドテレビでは両端が黒く表示されます）

「4 : 3〔レターボックス〕」

ワイドテレビではワイド画面サイズで表示し、横4 : 縦3のテレビではレターボックスサイズで表示します。

「4 : 3〔パンスキャン〕」

ワイドテレビではワイド画面サイズで表示し、横4 : 縦3のテレビでは左右をカットした横4 : 縦3のサイズで表示します。

4.DVDビデオの使い方

基本的なDVDの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、サイドブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になることができます。(走行中にDVDモードを選択した場合、音声のみになります。)



DVD差し込み口にDVDを差し込むと自動的に電源が入り、再生を始めます。

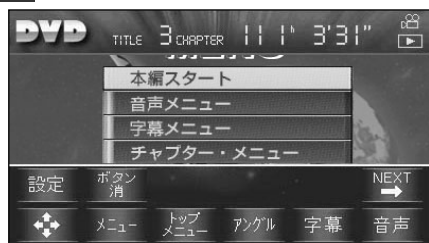
- 1 DVDが差し込まれているときに **SOURCE** を押します。

- 2 **DVD** にタッチすると再生を始めます。

再生したい映像を選ぶ

ディスクに収録されているメニューを操作することができます。

- 1 画面にタッチします。
- 2 **設定** にタッチします。
- 3 **↓** **↑** **←** **→** にタッチし、再生したい映像を選びます。
- 4 **決定** にタッチします。



ワンポイント

DVDプレーヤーモードに切り替えたとき、タッチスイッチなどの情報は約6秒間表示されます。**CONT**を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容にしがって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

早送り・早戻しする

再生している映像を早送り・早戻しすることができます。

パネルスイッチから早送り・早戻しする

- 1 ■、または■を“ピッ”と音がするまで押します。

■（上側）：映像を進めるとき

■（下側）：映像を戻すとき

“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

タッチスイッチから早送り・早戻しする

- 1 DVD操作画面でNEXTにタッチします。



- 2 ◀◀、または▶▶にタッチします。

“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

◀◀にタッチすると、DVD操作画面に表示が切り替わります。



➡ 次ページに続く

4.DVDビデオの使い方

映像を一時止める

1 DVD操作画面で **▶▶** にタッチします。

2 **⏸** にタッチします。

▶▶ にタッチすると再生が再開されます。
一時停止中 (**⏸**) に **▶▶** を短くタッチ
するとスロー再生します。



映像を止める

1 DVD操作画面で **▶▶** にタッチします。

2 **■** にタッチします。

▶▶ にタッチすると再生が再開されます。



DVDを止める

1 **PWR** を押します。

もう一度押すと再生が再開されます。

見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号 (内容ごとに区切られた番号) から探すことができます。

チャプターから探す

1 **◻**、または **◻** を押します。

◻ (上側) : 次のチャプターを選ぶとき
◻ (下側) : 前のチャプターを選ぶとき
見たい映像がいま見ているチャプターより後ろにあるときは **◻** を押し、前にあるときは **◻** を押します。また、表示部にいま選ばれているチャプター番号が表示されます。

タイトル番号から探す

1 DVD操作画面で **NEXT** にタッチします。

2 **サーチ** にタッチします。

タイトル番号入力画面が表示されます。



3 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、タイトル番号を入力します。

-、または **+** にタッチすると、タイトル番号が1ずつ切り替わります。

-10、または **+10** にタッチすると、タイトル番号が10ずつ切り替わります。

4 **決定** にタッチします。

メニュー番号から探す

1 DVD操作画面で **+** にタッチします。

2 **数字** にタッチします。

メニュー番号入力画面が表示されます。



3 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、メニュー番号を入力します。

-、または **+** にタッチすると、メニュー番号が1ずつ切り替わります。

-10、または **+10** にタッチすると、メニュー番号が10ずつ切り替わります。

4 **決定** にタッチします。

4.DVDビデオの使い方

タッチスイッチの表示を切り換える

再生中、タッチスイッチの表示を切り換えたり、タッチスイッチの表示を消すことができます。

タッチスイッチを消す

- 1 **ボタン消** にタッチします。

CONT を押す、または画面にタッチすると、再度、タッチスイッチを表示します。



タッチスイッチの表示場所を切り換える

- 1 DVD操作画面で **十字** にタッチします。

- 2 **パネル** にタッチします。

タッチするごとにタッチスイッチの表示場所が上下に切り換わります。



画面表示・音声の切り換え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングルを切り換えることができます。

アングルを切り換える

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り換えて表示することができます。

- 1 マルチアングルが表示されているときに **アングル** にタッチします。

アングル番号が表示されます。

マルチアングルマーク



- 2 **アングル切換** にタッチします。

アングル番号が換わり、映像のアングルが切り換わります。

アングル番号



アングル切換 にタッチするごとに、下図の順にアングルが切り換わります。

アングル1 → アングル2 → アングル...



字幕言語を切り換える

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り換えて表示することができます。

1 字幕 にタッチします。

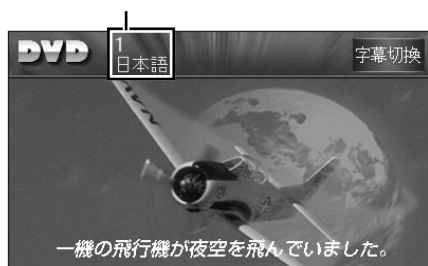
字幕番号および言語が表示されます。



2 字幕切替 にタッチします。

字幕番号が換わり、字幕の表示言語が切り換わります。

字幕番号および言語

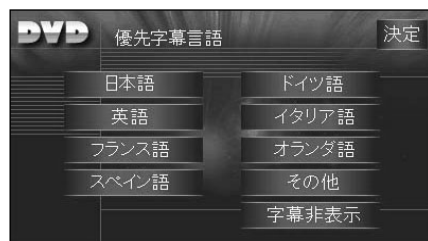


字幕の非表示

1 初期設定画面で 字幕 にタッチします。

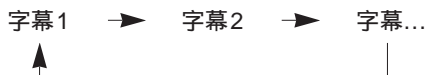
2 字幕非表示 にタッチします。

音声番号が換わりサブタイトル（字幕）の表示が消去されます。



ワンポイント

字幕切替 にタッチすることにより、下図の順に字幕が切り換わります。



4.DVDビデオの使い方

音声言語を切り換える

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り換えて再生することができます。

1 音声 にタッチします。

音声番号および言語が表示されます。



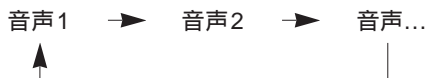
2 音声切換 にタッチします。

音声番号が換わり、音声の再生言語が切り換わります。

音声番号および言語



音声切替 にタッチするごとに、下図の順に音声切り替わります。



dtc音声フォーマットには対応していませんので、dtc音声の収録されたディスクでは、「dtc音声」を選択した場合、音声が出ません。この場合は、DVDビデオに必ず収録されている「Dolby Digital音声」を選択してください。
dtcは米国Digital Theater System,Inc.の登録商標です。

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アプバジャ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グラナニ語
0721	グジャラート語

コード	言語名称
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イヌビアク語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラーヤラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語

コード	言語名称
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	ショナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スダ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベグ語
2209	ベトナム語
2215	ボラビュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

1. 音声操作システムについて

音声認識コマンド一覧

音声操作は音声認識マイク&スイッチを使い、音声でオーディオの操作を行うことができる機能です。

音声操作システムの基本操作については、「取扱説明書ナビゲーション編」-「音声操作システムについて」を参照してください。

音声操作するときの音声認識コマンド一覧を紹介します。

オーディオモードを切り替えるコマンド

すべての画面で有効です。

音声認識コマンド	読 み	機 能
TV	てれび	TVモードにする
ビデオ	びでお	ビデオモードにする
ラジオ	らじお れでいお	ラジオモードにする
AM	えーえむ(らじお れでいお)	AMモードにする
FM	えふえむ(らじお れでいお)	FMモードにする
交通情報	こーつーじょーほー	交通情報モードにする
交通情報オフ	こーつーじょーほー (かいじょ しょーきょ)	交通情報モードを解除する
CD	しー(でー でいー)	CDモードにする
MD	えむ(でー でいー)	MDモードにする
CDチェンジャー	しー(でー でいー) ちえんじゃー	CDチェンジャーモードにする
CDチェンジャー (1・2)	し(でー でいー) ちえんじゃー いち・に	CDチェンジャー (1・2) モードにする
MDチェンジャー	えむ(でー でいー) ちえんじゃー	MDチェンジャー モードにする
MP3	えむびー(すりー さん)	MP3モードにする
DVD	(でー でいー) ぶい(でー でいー)	DVDモードにする
オーディオオン	ばわー おーでいお	オーディオオン
オーディオオフ	ばわーおふ おーでいお[お] ふ	オーディオオフ

ラジオ・テレビで使えるコマンド

音声モードがラジオ、テレビのとき有効です。

音声認識コマンド	読 み	機 能
シークアップ	しーくあっぱ	周波数の高い方向へ選局する
シークダウン	しーく(だうん だう だん)	周波数の低い方向へ選局する
放送局名 1	(放送局名) 1	放送局を切り替える
オートプリセット	おーとぷりせっと	自動選局を開始する
オートプリセットオフ	おーとぷりせっとおふ	自動選局を中止する

1：各放送局名については、「認識できる放送局」(次ページ)を参照してください。

CD・MDプレーヤーで使えるコマンド

音声モードがCD、MDのとき有効です。

音声認識コマンド	読 み	機 能
次の曲	とらっくあっぱ つぎのきょく	次の曲を選曲する
頭出し	とらっくだうん あたまだし	現在の曲を選曲する(頭出し)
前の曲	[ひとつ] まえのきょく いっきょく くまえ	前の曲を選曲する
トラック (番号)	とらっく (番号) 2	トラック番号の曲を選曲する

2：トラック番号は1～20まで有効です。

CD・MDチェンジャーで使えるコマンド

音声モードがCD、MDチェンジャーのとき有効です。

音声認識コマンド	読 み	機 能
次の曲	とらっくあっぱ つぎのきょく	次の曲を選曲する
頭出し	とらっくだうん あたまだし	現在の曲を選曲する(頭出し)
前の曲	[ひとつ] まえのきょく いっきょく くまえ	前の曲を選曲する
次のディスク	でいすくあっぱ つぎのでいすく	次のCD・MDに切り替える
前のディスク	でいすくだうん まえのでいすく	前のCD・MDに切り替える
トラック (番号)	とらっく (番号) 3	トラック番号の曲を選曲する
ディスク (番号)	でいすく (番号) 4	ディスク番号の曲を選曲する

3：トラック番号およびディスク番号は1～20まで有効です。

4：ディスク番号は1～12まで有効です。

➡ 次ページに続く

1.音声操作システムについて

MP3で利用できるコマンド

音声モードがMP3のとき有効です。

音声認識コマンド	読 み	機 能
次の曲	とらっくあつぷ つぎのきょく	次の曲を選曲する
頭出し	とらっくだうん あたまだし	現在の曲を選曲する（頭出し）

画面表示に関するコマンド

すべての画面で有効です。

音声認識コマンド	読 み	機 能
画面消し	がめん（しよーきょ けし）	画面を消す

認識できる放送局

音声認識コマンドによって表示できる放送局名を紹介します。



電波が届かない地域での選局はできません。

放送局名は、正式名称と通称のどちらを発声しても認識されます。

例）：FM 北海道（AIR-G'）の場合、「FM（エフエム）北海道」・「AIR-G'（エアージー）」ともに認識されます。

北海道テレビ（HTB）の場合、「ホッカイドウテレビ」・「エイチティービーテレビ」ともに認識されます。

同じ名称でラジオとテレビがある放送局（東京放送など）を選択するときは、確実に認識させるため、名称の異なるコマンドを発声してください。

例）：東京放送（TBS）の場合、ラジオ・・・「TBSラジオ」・テレビ・・・「TBSテレビ」と発声してください。

AM放送局一覧表

放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名
エッチビーシー HBCラジオ (ホツカイドウホウソウ)	エスティービー STVラジオ	アールビー RABラジオ (アオモリホウソウ)	アイビー IBCラジオ (アイワテホウソウ)	エービーエス ABSラジオ (アキタホウソウ)
ティービーシー TBCラジオ (トウホクホウソウ)	フクシマ ラジオ福島	ヤマガタ ホウソウ 山形放送	ビーエスエス BSNラジオ (ニイガタホウソウ)	エスビーシー SBCラジオ (シンエツホウソウ)
ヤマナシホウソウ 山梨放送	アイビーエスイバラギ IBS茨城 (イバラギホウソウ)	ティービーエス TBSラジオ (トウキョウホウソウ)	ブン カ ホウソウ 文化放送 (ブンカ)	ホウソウ ニッポン放送 (ニッポン)
ニッポン ラジオ日本 (アールエフラジオニッポン)	エスビーエス SBSラジオ (シズオカホウソウ)	ケーエスビー KNBラジオ (キタニホンホウソウ)	エムアールオー MROラジオ (ホクリクホウソウ)	エフビーシー FBCラジオ (フクイホウソウ)

放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名
CBCラジオ (シービーシーチュウニチ)	トウカイ 東海ラジオ (トウカイエスエフ)	ギ フ ホウソウ 岐阜放送 (ジービーエスラジオ)	エービーシー ABCラジオ (アサヒホウソウ)	エムビーエス 毎日-MBS (マイニチホウソウ)
オオサカ ラジオ大阪 (オオサカホウソウ)	ケービーエス KBSラジオ (キョウトホウソウ)	エーエムコウ ベ AM神戸 (ラジオカンサイ)	ワ カ ヤマ ホウソウ 和歌山放送	アールシー RCCラジオ (チュウゴクホウソウ)
アールエスケ RSKラジオ (サンヨウホウソウ)	ビーエスエス BSSラジオ (サンインホウソウ)	ケーアールワイ KRYラジオ (ヤマグチホウソウ)	アールエスシー RNCラジオ (ニシニホンホウソウ)	ナンカイ 南海ラジオ (ナンカイホウソウ)
アールケイシー RKCラジオ (コウチホウソウ)	シ コク ホウソウ 四国-JRT	アールケービー RKBラジオ (アールケービーマイニチホウソウ)	ケービーシー KBCラジオ (キョウシュウアサヒホウソウ)	エヌビーシー NBCラジオ (ナガサキホウソウ)
オービーエス OBSラジオ (オオイトホウソウ)	アールケーケー RKKラジオ (クマモトホウソウ)	エムアールディー MRTラジオ (ミナミホウソウ)	エムビーシー MBCラジオ (ミナミホウソウ)	アールビー RBCラジオ (リュウキョウホウソウ)
オキナワ ラジオ沖縄	シーアールディー トチ ギ CRT栃木 (トチギホウソウ)	エヌエスケー ゲイ イチ NHK第1	エヌエスケー ゲイ ニ NHK第2	エーエフエス AFN

() 内で発声しても認識されます。

FM放送局一覧表

放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名
エア - ジー AIR - G ' (エフエムホッカイドウ)	アオモリ エフエム青森	イウ テ エフエム岩手	アキ タ エフエム秋田	デート エフエム DateFM (エフエムセンダイ)
エフエムニイガタ FM新潟 (エフエムラジオニイガタ)	エフエムナガノ FM長野 (ナガノエフエム)	エフエム フ ジ FM富士	エフエム グンマ FM群馬	ホウソウ ダイダク 放送大学
トウキョウ エフエム 東京FM (エフエムトウキョウ)	ジェー ウェーブ J - WAVE (エフエムジャパン)	エフエム FMヨコハマ (ヨコハマエフエム)	ケー ミックス K - MIX (シズオカエフエム)	エフエム FMとやま (トヤマエフエム)
エフエム フク イ FM福井 (フクイエフエム)	エフエムエー FMA (エフエムアイチ)	エフエム ミ エ FM三重 (ミエエフエム)	エフエム オオ サカ FM大阪	ヒロシマエフエム 広島FM
エフエム サンイン FM山陰	ヤマグチ エフエム山口	エフエム カ ガワ FM香川	エフエム エ ビメ FM愛媛	エフエム フク オカ FM福岡
エフエム スマイルFM (エフエムナガサキ)	エフエムナカキョウシュウ FM中九州	エフエム ジョイFM (エフエムミヤザキ)	エフエム オキナワ FM沖縄	ナックファイブ NACK5 (エフエムサイタマ)
エフエムハチマルニ FM802 (エフエムハチゼロニ)	エフエム ヤマ ガタ FM山形	ベイ エフエム bay - FM (エフエムサウンドチバ)	ハローフエーブ エフエム石川 (エフエムイシカワ)	エフエム オオイト FM大分
キッス エフエム KissFM (ヒョウゴエフエム)	エフエム サ ガ FM佐賀	エフエム トク シマ FM徳島	エフエム コウ チ FM高知	アルファステーション FM京都 (エフエムキョウト)
キタ ニホン ホウソウ 北日本放送	ジップ エフエム ZIP - FM (エフエムナゴヤ)	エフエム クロスFM (エフエムキョウシュウ)	エフエム ミュ- FM (エフエムエスガコシウ)	エフエム ノース ウェーブ FM・N・W (エフエムエスダブリュー)
ラジオベリー (エフエムトチギ)	エフエム ふくしまFM (エフエムフクシマ)	エフエムココロ COCOLO (カンサイインターメディア)	エフエム インターFM (エフエムインターウェーブ)	イーラジオ ERadio (エフエムシガ)
ラブ エフエム LoveFM (キョウシュウコクサイエフエム)	エフエムオカヤマ FM岡山 (オカヤマエフエム)	ニイガタケンミンエフエム 新潟県民FM (エフエムポート)	アイ チ コクサイ ホウソウ 愛知国際放送 (レディオアイ)	ギ フ エフエム ホウソウ 岐阜FM放送 (レディオアイティ)
エヌエスケー エフエム NHK - FM				

() 内で発声しても認識されます。

1. 音声操作システムについて

TV放送局一覧表

放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名
エッチビーシー HBCテレビ (ホッカイドウホウソウ)	エスティービー STVテレビ (サッポロテレビ)	エッチティービー HTBテレビ (ホッカイドウテレビ)	ユーエッチビー UHBテレビ (ホッカイドウブンカホウソウ)	ティー・ブイエッチ TVHテレビ (テレビホッカイドウ)
アオモリ ホウソウ 青森放送 (アオモリ ホウソウテレビ)	アオモリ 青森テレビ	アオモリ アサヒ ホウソウ 青森朝日放送	イワテ アサヒ テレビ 岩手朝日TV	アイビーシー IBCテレビ (アイビーシーイワテホウソウ)
イワ テ テレビ岩手	めんこい ^{テレビ} TV (イワテメンコイテレビ)	ティービーシー TBCテレビ (トウホクホウソウ)	センダイホウソウ 仙台放送	ミヤギテレビ
ヒガシ ニホン ホウソウ 東日本放送	アキ タ ホウソウ 秋田放送 (アキタホウソウテレビ)	アキ タ 秋田テレビ	アキ タ アサヒ ホウソウ 秋田朝日放送	ワイビーシー YBCテレビ (ヤマガタホウソウ)
ワイティーエス YTSテレビ (ヤマガタテレビ)	ティーユーワイ TUYテレビ (テレビユーヤマガタ)	エスエーワイ SAYテレビ (サクラソボテレビ)	フクシマ 福島テレビ	フクシマチュウオウテレビ 福島中央TV
フクシマホウソウ 福島放送	ティーユーエフ シマ TUF福島 (テレビユーフクシマ)	ニ ホン 日本テレビ	ティービーエス TBSテレビ (トウキョウホウソウ)	フジテレビ
アサヒ テレビ朝日 (ゼンコウアサヒホウソウ)	トウキョウ テレビ東京	エムエックス MXテレビ (トウキョウメトロポリタンテレビ)	グン マ 群馬テレビ	ホウソウ ダイガク 放送大学
とちぎテレビ	サイタマ テレビ埼玉	チ バ 千葉テレビ	ティーブイケー TVKテレビ (テレビカナガワ)	ビーエスエス BSN (ニイガタホウソウ)
エヌエスティー NST (ニイガタソウゴウテレビ)	デニー TeNY (テレビニイガタ)	エヌティーニジウイチ NT21 (ニイガタテレビニジウイチ)	ヤマナシホウソウ 山梨放送 (ワイビーエステレビ)	ヤマナシ テレビ山梨
シンエツ ホウソウ 信越放送 (シンエツ ホウソウテレビ)	ナガ ノ ホウソウ 長野放送	シンシュウ テレビ信州	ナガ ノ アサヒ ホウソウ 長野朝日放送	キタ ニホン 北日本テレビ (キタニホンホウソウ)
トヤマ BBTテレビ (ビビティテレビ)	チューリップ チューリップ (チューリップテレビ)	エムアールオー MROテレビ (ホクリクホウソウ)	イシカワ 石川テレビ (イシカワテレビホウソウ)	カナザワ テレビ金沢
ホクリクアサヒホウソウ 北陸朝日	エフビーシー FBCテレビ (フカイホウソウ)	フク イ 福井テレビ	シービーシー CBCテレビ (チュウブニホンホウソウ)	トウカイ 東海テレビ
ナ ゴヤ 名古屋テレビ	チュウキョウ 中京テレビ	ギ フ ホウソウ 岐阜放送 (デフテレビ)	エスビーエス SBSテレビ (シズオカホウソウ)	シズオカ テレビ静岡
シズオカアサヒ テレビ 静岡朝日TV	ダイイチテレビ 静岡第一TV (シズオカダイイチテレビ)	アイ チ テレビ愛知	ミ エ 三重テレビ	マイニチ 毎日テレビ (マイニチホウソウ)
エイビーシー ABCテレビ (アサヒホウソウ)	カン サイ 関西テレビ	ヨミ ウリ 読売テレビ	びわこテレビ (ビワコホウソウ)	ケービーエス キョウト KBS京都 (キョウトテレビ)
オオサカ テレビ大阪	サンテレビ	ナ ラ 奈良テレビ	ワ カ ヤマ テレビ和歌山	ニ ホンカイ 日本海テレビ
ビーエスエス BSSテレビ (サンインホウソウ)	サンインチュウオウテレビ 山陰中央TV	サンヨウ 山陽テレビ (サンヨウホウソウ)	オーエッチケー OHKテレビ (オカヤマホウソウ)	テレビ TVせとうち
ニシ ニ ホン 西日本テレビ (ニシニホンホウソウ)	セ トナイカイテレビ 瀬戸内海TV (セトナイカイホウソウ)	アールシー RCCテレビ (チュウゴクホウソウ)	ヒロシマ 広島テレビ	ホームテレビ (ヒロシマホームテレビ)
シンヒロシマ テレビ新広島 (ティーエスエス)	ヤマグチホウソウ 山口放送 (ケーダーホルヴィ)	ヤマグチ テレビ山口 (ティーワイエス)	ヤマグチアサヒ ホウソウ 山口朝日放送 (ワイエービー)	シ コク 四国テレビ (シコクホウソウ)
ナンカイ 南海テレビ (ナンカイホウソウ)	エ ヒメ テレビ愛媛 (エヒメホウソウ)	あいテレビ (イヨテレビ)	エ ヒメアサヒ テレビ 愛媛朝日TV (エヒメアサヒ)	コウ チ ホウソウ 高知放送
コウ チ テレビ高知	テレビ さんさんTV (コウチサンサンテレビ)	アールケービーマイニチ RKB毎日 (アールケービーマイニチホウソウ)	キョウシヨウ アサヒ ホウソウ 九州朝日放送 (ケービーシー)	ニシ ニ ホン テレビ西日本 (ティーエヌシー)

放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名
フクオカホウソウ 福岡放送 (エフビーエス)	エヌビーシー NBCテレビ (ナガサキホウソウ)	ナガサキ テレビ長崎 (ケーティーエヌ)	ナガサキブンカ ホウソウ 長崎文化放送 (エヌシーシー)	キュー テレQ (ティーブイキュー)
ナガサキ コクサイ テレビ 長崎国際TV (エヌアイビー)	サガテレビ (エスティーエス)	クマモトホウソウ 熊本放送 (アールケーケー)	クマモト テレビ熊本 (ディーケーユー)	ケンミン くまもと県民 (クマモトケンミンホウソウ)
クマモト アサヒ ホウソウ 熊本朝日放送 (ケーエービー)	オオイタホウソウ 大分放送 (オービーエス)	オオイタ テレビ大分 (ティーオーエス)	オオイタアサヒホウソウ 大分朝日放送 (オーエービー)	ミヤザキホウソウ 宮崎放送 (エムアールディー)
ミヤザキ テレビ宮崎 (ユエムケイ)	ミナミニホンホウソウ 南日本放送 (エムビーシー)	カゴシマ 鹿児島テレビ (ケーティーエス)	カゴシマホウソウ 鹿児島放送 (ケーケービー)	カゴシマヨミウリ 鹿児島読売 (カゴシマヨミウリテレビ)
リュウキュウホウソウ 琉球放送 (リュウキュウホウソウテレビ)	オキナワ 沖縄テレビ	リュウキュウアサヒホウソウ 琉球朝日放送	エヌエチケー ソウ ゴウ NHK総合 (エヌエチケーテレビ)	エヌエチケー キョウイク NHK教育

() 内で発声しても認識されます。

1.故障とお考えになる前に

本機の調子が悪いときは、修理を依頼する前に、次の項目を参考にチェックしてください。
それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店に相談してください。

次の表にしたがって調べていただき、直らないときには必ず電源を切ってから、後の処置を行ってください。

症 状	原因	処置
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い。	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくそのままお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくすると安定します。
音が出ない。	音量の調整不良。	音量スイッチを押して確認してください。
	dts音声を選択している。	Dolby Digital音声を選択してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る。	スピーカーコードがはずれている。	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない。	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない。	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・MD・DVDが入らない。	電源が入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている。	すでに入っているCD・MD・DVDをイジェクトしてから、お好みのCD・MD・DVDを入れてください。
CD・MDの再生ができない。	結露している。	しばらく放置してから使用してください。（12ページ参照）
	CD・MDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。（12ページ参照）
	MDに大きなキズやソリがある。	他のMDを入れてください。
CDC1 、 CDC2 にタッチしても、CDチェンジャーにならない。	CDチェンジャーの接続が不完全。	CDチェンジャーとの接続を確認してください。
MDC にタッチしても、MDチェンジャーにならない。	MDチェンジャーの接続が不完全。	MDチェンジャーとの接続を確認してください。
音声は出るが、映像が出ない。	画面消しボタンで画面を消したとき。	SOURCE 、 MENU 、 CONT 、 NAVI 、 INFO を押してください。

症 状	原因	処置
音声は出るが、テレビ映像が出ない。(停車中)	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
映像も音も出ない。	車の電源スイッチが入っていない。	エンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードの接続が不完全。	各接続コードの接続を確認してください。
テレビの映像または音が出ない。	VTR入力になっている。	SOURCE を押した後、 TV にタッチして、放送局を選択してください。
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。

以上の処置をとっても直らない場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。

2.こんなメッセージが表示されたら

ご使用中に、下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	内容
CD・MD検索中です	CD・MDチェンジャーにマガジンをセットしたとき、CD・MDチェンジャーがディスクの有無を検索しています。検索が終わるまで、そのまま、しばらくお待ちください。
CD・MDのふたが開いています	CD・MDチェンジャーの扉が開いています。CD・MDチェンジャーの扉を閉めてください。
CD・MD・DVDをお確かめください	CD、MDまたはDVDが汚れている、または裏返しになっているとき表示されます。ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
音楽CDが入っていません	CDプレーヤーまたはCDチェンジャーにディスクが入ってないとき、または裏返しになっているときに表示されます。音楽ディスクを入れてください。または、裏返しのときは正しく入れてください。
異常検知でCD・MD・DVD停止中です 1	なんらかの原因でCD・MD・DVDプレーヤーまたはCD・MDチェンジャーが動かないとき表示されます。各ディスクのイジェクトスイッチを押してディスクを取り出してください。
高温検知でCD・MD・DVD停止中です 2	CD・MD・DVDプレーヤーまたはCD・MDチェンジャーの温度が高くなり、動かないとき表示されます。温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
CD・MDマガジンが入っていません	CD・MDチェンジャーにマガジンが入っていないとき表示されます。マガジンを入れてください。
走行中は音声をお楽しみください	走行中にテレビを見ようとしたときに表示されます。車を安全な場所に停車させてパーキングブレーキをかけてからお楽しみください。
FM多重放送を受信できませんでした	一般文字情報を受信していないとき表示されます。選局し直してください
コード番号が正しくありません。	暗証番号の入力が正しくない場合に表示されます。正しい暗証番号を入力してください。
視聴制限がかかっており再生できません。	視聴制限がかかっています。視聴制限の設定を変更して操作してください。(68ページ参照)
現在ご利用になれません。	メニューなどで操作できないものを選んだ場合などに表示されます。画面の表示にしたがって操作してください。
走行中は操作できません。停止して操作してください。	走行中に操作できないものを選んだ場合に表示されます。車両を停止してください。
受け付けないコードです。	言語コードの選択で対象外のものを入力した場合に表示されます。正しい言語コードを設定してください。
このDVDは演奏できません。	ディスクのリージョンコード(再生できる地域制限)が違いため、再生できない場合に表示されます。本機で使用できるDVDをご確認ください。(12ページ参照)

1 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店に相談してください。

2 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えてCD(MD)の再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店に相談してください。

3.その他

技術基準適合認定について

本機は、電気通信事業法第72条の2第1項の規定に基づく端末機器の設計についての認証を行っています。そのため「自動再発信を行う場合にあっては、その回数は2回以内であること。ただし、最初の発信から3分を超えた場合にあっては、別の発信とみなす。」という規定にしたがい3分以内には2回を超える自動再発信は、行いません。

認証マーク :  ㊞

認証登録申請者：富士通テン株式会社

機器名：データ伝送アダプタ内蔵 車載情報端末

認証番号：A01-0298JP

ドルビーデジタルのみを搭載する製品

Manufactured under license from Dolby Laboratories.

"Dolby" and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

Confidential Unpublished Works. ©1992-1997 Dolby Laboratories, Inc. All rights reserved.

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

「Dolby」およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

非公開機密著作物。 著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。 不許複製



マクロビジョンを搭載する製品

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権およびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外には使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

4.用語説明

EQイコライザ	音楽の高音から低音まで、どの音を強調して鳴らすかを設定することができます。好みに応じてレベルを変化させ、音楽を楽しむことができます。
トラック	音楽CDまたはMDでは曲の1区切りをトラックといいます。
音声多重	テレビの音声はもともとモノラル（単一）でしたが、周波数の隙間を利用することで音声を多重化し、別の音声を送れるようになりました。音声多重としてはステレオ音声が一般的に利用されていますが、日本語・英語などの2音声で利用されることもあります。
MP3(MPEG-1 Audio Layer-3)	音楽などの音声データを圧縮するときの技術（デジタル圧縮技術）の1つです。 データの圧縮率が高いため、一般的にはインターネット上の音楽配信サイトなどから入手することができます。
LPCM（リニアPCM）	音楽CDに使用されている信号記録方式で、Linear Pulse Code Modulationの略です。音楽CDでは、44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは、48kHz/16bit～96kHz/24bitで記録されているため、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略で、「エムベグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

視聴制限	「国ごとの規制レベルに合わせて、視聴制限に対応したディスクの再生を制限する」というDVDビデオの機能のひとつです。制限はDVDビデオによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがあります。
タイトル	DVDビデオに記憶されている映像や曲の区切りの一番大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（あるいは1曲）にあたります。それぞれのタイトルに順に付けられた番号をタイトル番号といいます。
チャプター	DVDビデオに記憶されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成され、それぞれのチャプターに順に付けられた番号をチャプター番号といいます。
マルチアングル	DVDビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル（カメラの位置）で記憶されているため、アングルを自分で自由に選択することができます。
マルチランゲージ	DVDビデオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕が複数の言語で記憶されているため、言語を自分で自由に選択することができます。
地域番号（リージョンコード）	DVDプレーヤーとDVDディスクは販売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンコード）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。地域番号についての詳細は64ページを参照してください。

5. 目的別索引

< 音量・演奏方法について >

スイッチを押したときの効果音のON / OFFを切り替えたい

「画面動作・効果音の設定」 P20

音量を調整したい

「主音量の調整」 P20

小音量時の音にメリハリをつけたい (LOUD)

「小音量時の低・高音調整」 P21

演奏する音をかえたい

演奏している環境の雰囲気をかえたい

「DSP (音場) の設定」 P23

高音と低音を調整したい

「EQ (イコライザ) の調整」 P24

スピーカーの音量バランスをかえたい

「音量バランスを調整する」 P27

ウーファー接続時の音の出力レベルを調整したい

「ノンフェーダ出力の設定」 P21

< 演奏する曲について >

演奏する曲を探したい

CDプレーヤーの演奏する曲を探したい

「聞きたい曲を選ぶ」 P40

MDプレーヤーの演奏する曲を探したい

「聞きたい曲を選ぶ」 P44

CDチェンジャーの演奏する曲を探したい

「聞きたい曲を選ぶ」 P42

MDチェンジャーの演奏する曲を探したい

「聞きたい曲を選ぶ」 P46

MP3プレーヤーの演奏する曲を探したい

「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」 P49

< 放送局について >

ラジオの放送局を探したい

「聞きたい放送局を選ぶ」.....P36

テレビの放送局を探したい

「見たいチャンネルを選ぶ」.....P57

< ビデオ・DVDビデオについて >

ビデオを見たい

「ビデオデッキのモニターとしての使い方」.....P61

DVDビデオを見たい

「DVDビデオの使い方」.....P62

< 画面について >

使用するオーディオの画面に切り替えたい

「モードの切り替え方」.....P18

明るさやコントラストを替えたい

「オーディオ画面の画質調整」.....P29

背景画を替えたい

「背景画を切り替えるには」.....P28

テレビ・ビデオの映像の大きさを替えたい

「画面モード切り替え」.....P34

< わからなくてお困りのとき >

画面のメッセージがわからない

「こんなメッセージが表示されたら」.....P86

故障かどうかわからない

「故障とお考えになる前に」.....P84

6.索引

五十音順

ア

アングルマーク	67
ウーファー	21
音質の調整	22
音声操作	78

カ

画質調整	29,31
効果音	20
交通情報	39

サ

字幕言語の切り換え	75
主音量の調整	20

タ

テレビ	56
電源の入れ方	18

ハ

背景画の切り替え	28
昼画表示	29,31
ビデオ	61

マ

マルチアングルマーク	67
------------------	----

ヤ

夜画表示	29,31
------------	-------

ラ

ラジオの使い方	36
---------------	----

アルファベット/数字

C

CDチェンジャー	42
CDプレーヤー	40
CONT	56

D

DSP (音場)	23
DVDビデオ	62

E

EQ (イコライザ)	24
------------------	----

L

LOUD	21
------------	----

M

MDチェンジャー	46
MDプレーヤー	44
MP3プレーヤー	48

P

POS (ポジションセクタ)	26
PWR	18

S

SOURCE	18
--------------	----

V

VOL	20
-----------	----

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸(078)671-5081



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。
©富士通テン株式会社 2003

090002-25860700
0307K (N)